

第40回

読んでみよう**子ども**の本・展示会

2013年に出版された子どもの本から図書館がすすめる400冊



富山市立図書館



毎年、たくさんの数の児童図書が出版されます。その中で、子どもたちが実際に手にとる本はわずかです。子どもたちが楽しい本や、すぐれた本と出会い、豊かな読書体験ができるようにと願うとき、たくさんの本の中から何を選びどう手渡すかという判断は、容易なことではありません。

そこで富山市立図書館では、昨年 1 年間に発行された新刊図書の中から、すすめる本として、400 冊を選び展示会を開催し、あわせて本の内容を紹介した展示目録を発行しています。この目録が、子どもたちの読書の手がかりになれば幸いです。

なお、選定にあたっては、児童文学関係の書評誌や新聞の書評等も参



凡 例

1. この図書目録は、平成 25 年の1年間に発行された新刊図書のうち、当図書館で収集した児童図書から 400 冊を収録しました。
2. 図書は、ジャンル別に分けています。そのうち、絵本は書名の 50 音順、物語・文学・知識の本は、分類番号順に並んでいます。
3. 内訳は、絵本 144 冊、物語・文学 190 冊、知識の本 66 冊です。
4. 絵本と知識の本の対象年齢区分は、次の 6 段階です。
赤ちゃん～、幼児～、小学校低学年（〔小低〕と表示）～、小学校中学年（〔小中〕と表示）～
小学校高学年（〔小高〕と表示）～、中学生（〔中学〕と表示）～

目 次

絵本	(144 冊)	3～20 p
物語		
小学校低学年	(38 冊)	20～24 p
小学校中学年	(42 冊)	25～30 p
小学校高学年	(61 冊)	30～37 p
中学・高校	(45 冊)	38～43 p
その他の文学	(4 冊)	44 p
知識の本	(66 冊)	44～52 p

絵 本

あー・あー

三浦太郎／さく・え 童心社

ヤギは「めー・めー」、ページをめくると「もー・もー」とウシが出てくる。ラッパは「ぷー・ぷー」。カラフルではっきりとした絵とともに、赤ちゃんの発しやすい言葉がたくさん登場する。『あ・あ』と同時刊行。〔赤ちゃん〜〕

ああ神さま、わたしノスリだったらよかった

ポーリー・グリーンバーク／文 アリキ／絵
日向佑子／訳 BL出版

児童労働を描いた絵本。強い日差しの中、休憩も与えられず、幼い少女はひたすら綿を摘む。少女は、過酷な作業の合間に「空を自由に飛びまわるノスリになれたら」と呟く。家族のために、選択の余地なく働かなければならない子どもの現状を訴えている。〔小中〜〕

あかちゃんぐまはなにみたの？

アシュリー・ウルフ／文・絵 さくまゆみこ／訳 岩波書店

冬眠から目覚めたクマの親子は、暗い巣穴から明るい外へ出る。緑の葉。青い鳥。赤い苺。はじめて見るものばかりの赤ちゃんぐまは、ひとつひとつを母ぐまにたずねる。色鮮やかな春を力強い版画で描く。〔幼児〜〕

あたしいえでしたことあるよ

角野栄子／文 かべやふよう／絵 あすなる書房

ママにしかられると、すぐに家出をするやんちゃな女の子。けれども、外で思いっきり遊ぶと、ちゃんと帰ってくる。帰ってくる子どもを笑顔で迎えるお母さんのやさしさが印象的。〔幼児〜〕

ありがとうチュウ先生 わたしが絵かきになったわけ

パトリシア・ポラッコ／作 さくまゆみこ／訳 岩崎書店

ドノバン先生は、パトリシアの絵の才能を見出し、美術のチュウ先生に紹介する。そこからパトリシアの絵描き人生が始まる。作者であるポラッコの自伝的絵本。子どもの特性や才能を見守る二人の先生が心に残る1冊。〔小中〜〕

アントンせんせい

西村敏雄／作 講談社

アントン先生の動物病院には、毎日たくさんの動物たちがやってくる。忙しいアントン先生は、とうとう診療中に倒れてしまう。心配した動物たちが集まって、先生のために栄養満点の料理を作る。〔幼児〜〕

あんよあんよ

中川ひろたか／ぶん ささめやゆき／え あかね書房

「あんよあんよ」真っ黒な足と白いおなか、誰の足だろう？ページをめくるとパンダがいる。動物の足元と全身が交互に登場。最後は男の子が歩いてお母さんの胸の中へ。歩く楽しさが感じられる絵本。シリーズに『あったあった』がある。〔赤ちゃん〜〕

いけのおと

松岡達英／さく 福音館書店

森の中のちいさな池。「げえこげえこ」とカエルが鳴けば、「ぱしゃぱしゃ」と魚がはねる。耳をすませば、生きものたちがたてる、かすかな音が聞こえてくる。ある夏の一日の池の風景を描く。月刊誌「ちいさなかがくのとも」（2008年6月号）のハードカバー版。〔幼児〜〕

イソップのおはなし

イソップ／〔原作〕 バーバラ・マクリントック／再話・絵 福本友美子／訳 岩波書店

イソップ物語から「町のネズミといなかのネズミ」など9つの話を選び、子ども向けに再話したもの。登場する動物は、すべて擬人化し、19世紀風の衣装を纏って描かれている。カリグラフィによる美しい日本語の題字は、訳者の手によるもの。〔幼児～〕

いちばんでんしゃのうんてんし

たけむらせんじ／ぶん おおともやすお／え 福音館書店

始発電車の運転士さんを紹介する。乗務員用寝室で特別なベッドに起こされるところから、1日が始まる。始発電車が動き出すまでの入念な点検など、普段は目にすることのない仕事を紹介する。〔幼児～〕

1はゴリラ かずのほん

アンソニー・ブラウン／作 さくまゆみこ／訳 岩波書店

1匹のゴリラ。ページをめくると2匹のオラウータン。次は3匹のチンパンジー。1から10までの数字にあわせて霊長類が登場する。繊細に描かれたサルが美しく、とても表情豊か。人間も霊長類であることを伝える。数かぞえ絵本。〔幼児～〕

イヌカウドモ

金森美智子／文 スギヤマカナヨ／絵 童話屋

いぬを飼うときに大事なものは、たくさん遊んでやり、しつけをし、しっかり世話をする。そうすれば、いぬは大切な友だちになってくれる。そして、いつかは悲しいお別れの時がやってくる。いぬを飼う時の心構えを伝える。〔小低～〕

犬になった王子 チベットの民話

君島久子／文 後藤仁／絵 岩波書店

昔、チベットのプラ国には、動物の乳と肉しか食べるものがなかった。そこで、プラ国の王子アチョは穀物の種をもらうため、恐ろしい蛇王のもとへでかける。しかしアチョは蛇王の怒りに触れ犬にされてしまう。髪の本一本いっぽんまで描く、繊細な絵が美しい。〔小低～〕

いました

五味太郎／著 ブロンズ新社

どこからかあらわれた、ふしぎな形。生きもののようにも見える。ならんで、はなれて、またならんで。ぶつかったり、まざったりの動きを繰り返す。単純な動きの中に、想像をめぐらす楽しさがある。『ならびました』と同時刊行。〔赤ちゃん～〕

いわな 川と森の生きものたち

佐藤成史／文 あさりまゆみ／絵 ポトス出版

主線のないはつきりとした色づかいの絵本。冬に孵化したいわなが、成長し次の冬を迎えるまでを描く。いわなだけでなく、ほかの生き物たちも細やかに描き込まれ、ページのあちこちに見つけることができる。〔幼児～〕

ウリオ

室井滋／文 長谷川義史／絵 世界文化社

ペットとして飼われることになった猪のウリオ。はじめは小さくてかわいがられるが、だんだん成長していくにつれて疎まれ、家出する。物語はウリオの視点で進むため、態度が変わっていく人びとの様子を、ウリオと共に体験できる。ペットを飼うことの責任を考えさせられる絵本。〔小低～〕

江戸の子どもちゃんまげのひみつ

菊地ひと美／作 偕成社

江戸時代、子どもは成長にあわせて髪型を変化させていた。そして男は、15歳になると大人になった証として、ちょんまげを結う。誕生からちょんまげ姿になるまでの子どもの髪型と暮らしを紹介。「江戸の子ども」シリーズ2作目。〔小低〜〕

おうちにいれちゃだめ！

ケヴィン・ルイス／作 ディヴィッド・エルコリーニ／絵 長友恵子／訳 フレーベル館

探検が大好きな男の子リヴィングストーン。虫を持ち帰り、ママに怒られる。次はネズミ、ブタ、シカと、持ち帰るものがどんどんエスカレート。怒られるとわかっていながら、あの手この手で動物を捕まえてくるリヴィングストーンが、ユーモラス。〔幼児〜〕

おおやまさん

川之上英子／さく・え 川之上健／さく・え 岩崎書店

強面のおおやまさんは、幼稚園バスの運転手。いつも厳しい顔で運転していて、園児に恐れられている。しかし、園児たちは、おおやまさんが花を見て笑ったり、運動会でみんなを応援している姿にも気づいていく。〔幼児〜〕

おさかないちば

加藤休ミ／作 講談社

寿司屋でお父さんが「タイラギ」という貝を食べた。どんな貝なのか気になった男の子は、市場へ連れて行ってもらい、実物を見る。写実的で迫力ある魚介の絵とともに、活気に満ちた市場の風景が伝わってくる。〔幼児〜〕

おとうさんもういっかい 1〜3

はたこうしろう／作 アリス館

男の子がお父さんの鼻をピッと押すと、お父さんは空へと持ち上げてくれる。遊んでもらって大

満足の男の子は、「もういっかい」とアンコール。お父さんとのダイナミックな遊びを描いた同シリーズは『たかいたかい』『うみあそび』『ゆうえんち』がある。〔幼児〜〕

おにいちゃんといもうと

シャーロット・ゾロトワ／文 おーなり由子／訳 はたこうしろう／絵 あすなろ書房

おにいちゃんは、いもうとのいやがることばかりして、いつも泣かせている。ところがある日、お絵かきに夢中のいもうとは、おにいちゃんは何をしても知らん顔。つまらなくなったおにいちゃんは、いもうとと一緒に遊びたいだけだったことに気づく。〔幼児〜〕

おにいちゃんになるひ

ローラ・M・シェーファー／作 ジェシカ・ミザーヴ／絵 垣内磯子／訳 フレーベル館

もうすぐ兄になるスペンサーは、庭じゅうを駆け回る。クマのように強く、ウマのように早く走り、キリンのように背が高い。赤ちゃんの生まれる日が待ちどおしいスペンサーは、兄になる喜びを体いっぱいに表示する。〔幼児〜〕

お船がきた日 淀川ものがたり

小林豊／文・絵 岩波書店

江戸時代に行われていた、朝鮮通信使と日本との交流を描く。信頼を通ずるという理念のもと、将軍の代替わりごとに日本を訪れていた。当時の記録に残された熱狂的な歓迎の様子から、通信使と人々が、言葉や文化を超えて交わっていたことがうかがえる。〔小中〜〕

おひなまつりのちらしずし

平野恵理子／作 福音館書店

今年のおひなまつりのちらしずしは、お姉ちゃんが作る。お母さんと姉弟の会話でストーリーが進む。台所の道具や材料、そして調理の工程が丁

寧に描かれ、子どもに料理への興味を抱かせる。
〔幼児～〕

おひるねけん

おだしんいちろう／作 こばようこ／絵
教育画劇

「おひるねけん」を出すと、どんな場所でもおひるねができる。車の上、王様のベッド、ライオンの口の中……。驚くような場所でも、券を見せれば誰でも快くお昼寝の場所をかしてくれる。真面目な顔で仕事をしている大人たちが、たちまち笑顔になって場所を譲るシーンが印象的。〔幼児～〕

おべんとうばこのうた

さいとうしのぶ／構成・絵 ひさかたチャイルド

「これくらいのおべんとうばこの」と、お弁当箱が歌うと、おにぎりやショウガ、ニンジン、サクランボ、シイタケが次々とやってきて、お弁当箱に飛び込む。最後に美味しそうな和風お弁当ができあがる。歌って楽しいわらべうたの絵本。〔幼児～〕

おむかえワニさん

陣崎草子／作・絵 文溪堂

ちよちゃんは、ひとりで電車に乗ってばあちゃんの家へ遊びに行くことになった。駅に迎えにきたのは、なんとワニ。ワニは一言もしゃべらないが、家にたどり着くまで何度もちよちゃんを守ってくれる。〔幼児～〕

かくれんぼどうぶつえん

今森光彦／切り絵 石津ちひろ／文 アリス館

「ぼくたち だれだか わかるかな？」ゾウ、キリン、シマウマなど、動物園で出会える動物たちが、ページのすみに体の一部を隠して描かれている。当てっこあそびの絵本。写真家の今森光彦が、

動物たちを切り絵で表現する。〔幼児～〕

かぜフーホッホ

三宮麻由子／ぶん 斉藤俊行／え 福音館書店

風でめくれる本の音、突風になびくシーツの音、枯葉の舞い散る音など、聞こえたままに音を表現する。臨場感あふれる絵と、音の響きを楽しむ絵本。〔幼児～〕

紙のむすめ

ナタリー・ベルハッセン／文 ナオミ・シャピラ／絵 もたいなつう／訳 光村教育図書

白い紙の家に、娘が住んでいた。娘もまた紙でできている。紙の世界で一人ぼっちで暮らす娘は、寂しさを埋めるように紙から様々なものを切り出していく。全編、美しいレースのような切り絵で描かれたイスラエルの絵本。〔小低～〕

からすのおかしやさん

かこさとし／作・絵 偕成社

からすのまち・いずみがもりに、からすのパンやさんがある。パンやの4羽の子どもたちがおとなになり、それぞれ自分のお店をもつ。『からすのパンやさん』（1973年発行）の続編。ほかに『からすのやおやさん』『からすのてんぷらやさん』『からすのそばやさん』がある。〔幼児～〕

カラスのスッカラ

石津ちひろ／作 猫野べすか／絵 佼成出版社

カラスの子・スッカラが昼寝から目を覚ますと、母さんカラスがいない。スッカラは母を探しに旅に出る。旅先で母を尋ねるが、皆しらんぷりするばかり。けれども最後は、泣きながらスッカラを探す母カラスに出会う。繰り返しの展開が楽しい。〔幼児～〕

ガラパゴス

ジェイソン・チン／作 福岡伸一／訳 講談社

東太平洋に浮かぶガラパゴス諸島には、ウミイグアナをはじめ、130 を超える固有種が生息している。島が誕生した 600 万年前から、現在に至るまでの島の形成と生物の進化を描く。巻末に島を探索したチャールズ・ダーウィンについての解説あり。〔小中〜〕

きいのいえで

種村有希子／作 講談社

「きい」と「私」は双子の姉妹。お母さんに怒られたきいは、家出すると言い出す。私は、おやつや絵本を出して、きいの気持ちを引きとめようとする。柔らかいタッチの絵で、子どもの表情を細やかに表現している。〔小低〜〕

きえたぐらぐらののは

コルネーリア・フンケ／文 ケルスティン・マイヤー／絵 あさみしょうご／訳 WAVE 出版

抜けた歯を枕の下に置いておくと、妖精がプレゼントに替えてくれる。アンは、ぐらぐらの歯が抜けるのを楽しみにしていた。ところが、弟と海賊ごっこをしているうちに、歯が抜けて失くしてしまう。〔小低〜〕

ぎふちょう

館野鴻／作・絵 偕成社

ギフチョウは、アゲハチョウの仲間。10 ヶ月間さなぎで過ごし、翌年の春に羽化する。ギフチョウの一生を繊細かつリアルに描くとともに、チョウのまわりで起こる自然界のできごとをありのままに伝える。巻末に絵本に登場した生き物や植物のリストあり。〔幼児〜〕

くつがいく

和歌山静子／作 童心社

ざっざっざっざ。兵隊の歩く音が聞こえてくる。兵隊に履かれた靴は海を越え、戦場へ。そして人を踏みにじる。やがて兵隊は飢えて死に、靴は祖

国へ帰ることなく朽ちていく。兵隊の靴を象徴的に描き、シンプルな言葉と絵で戦争の残酷さを伝える。〔幼児〜〕

グーテンベルクのふしぎな機械

ジェイムズ・ランフォード／作 千葉茂樹／訳 あすなろ書房

15 世紀、金物職人のグーテンベルクは、活字の印刷術を発明した。当時の印刷と製本技術について、紙やインク、活字の作り方などの工程とともに、ドイツの町並みや人々の生活を美しい絵で再現する。〔小上〜〕

クジラ対シャチ 大海原の決闘

NHK スペシャル制作班／監修 本木洋子／文 高田三郎／絵 新日本出版社

年に一度、クジラとシャチはベーリング海の豊富な餌を食べにやってくる。クジラの赤ちゃんを狙い、群れで襲いかかるシャチ。対するクジラは、種族の違いを超えて助け合う。大海原で繰り広げられるクジラとシャチの死闘を描く。〔小中〜〕

くじらのあかちゃんおおきくなあれ

神沢利子／文 あべ弘士／絵 福音館書店

温かな南の海、満月に見守られて、クジラのお母さんが赤ちゃんを産む。赤ちゃんは母の愛情を受けて育ち、やがて仲間とともに北の海へ出発する。生命力溢れる絵本。月刊誌「こどものとも年中向き」（2006 年 9 月号）のハードカバー版。〔幼児〜〕

グレゴール・メンデル エンドウを育てた修道士

シェリル・バードー／文 ジョス・A. スミス／絵 片岡英子／訳 BL 出版

1822 年、チェコに生まれたメンデルは、親の特権がどのようにして子どもに受け継がれるのかを、エンドウマメの交配実験によって証明しようとし

た。メンデルの法則を発見したグレゴール・メンデルの伝記絵本。〔小高～〕

こくばんくまさんつきへいく

マーサ・アレクサンダー／さく 風木一人／やく ほるぷ出版

アンソニーの部屋の黒板に描かれた、一匹のクマ。クマは「月へ行ってみたい」とアンソニーが話しているのを聞き、その夜、黒板から抜け出した。二人は力をあわせて宇宙船を組み立てる。〔幼児～〕

ゴナンとかいぶつ モンゴルの昔話より

イチンノロブ・ガンバートル／文 バーサンスレン・ボロルマー／絵 津田紀子／訳 偕成社

モンゴルの草原にゴナンという、とほうもなく力持ちの少年がいた。ゴナンは、村を襲った三つ目の怪物マンガスに力くらべを挑む。モンゴルでは、その勇敢さが遊牧民の理想の姿として語り継がれている。〔幼児～〕

こりすのかくれんぼ

西村豊／著 あかね書房

森の中の木の穴に住む、お母さんと3匹の子リス。お母さんが餌を探しにでかけると、子リスたちはこっそり追いかける。ストーリー仕立ての写真絵本。かくれているつもりで、耳や尻尾が飛び出している子リスの写真がかわいらしい。〔幼児～〕

これだれの？

みやこしあきこ／作 ブロンズ新社

画面いっぱいにちりばめられた、たくさんの道具。ページをめくると、持ち主が描かれている。長靴やじょうろを持つのは、花屋。まな板やフライパンは、コックさんのものだ。当てっこをしながら、いろんな仕事を知ることができる。〔幼児～〕

サーカスのあかちゃんぞう

モード・ピーターシャム／さく ミスカ・ピーターシャム／さく こみやゆう／やく 長崎出版

ぞうのお母さんは、あかちゃんぞうに人間のよう、行儀よくごはんを食べさせようとする。けれども失敗し、ぞうはぞうであることを悟る。わが子を立派に育てたいお母さんぞうの懸命な姿が、ユーモラス。〔幼児～〕

最初の質問

長田弘／詩 いせひでこ／絵 講談社

—あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。あなたにとって「わたしたち」というのは、誰ですか。— 見開きごとに、自分のあり方を問いかける。少し立ち止まって考えさせられる詩と、水彩の優しい色合いの絵がよく調和している。〔小中～〕

さみしかった本

ケイト・バーンハイマー／文 クリス・シーバン／絵 福本友美子／訳 岩崎書店

図書館に、ある物語の本があった。子どもたちに大人気の本だったが、だんだんと忘れられてしまう。本はさみしくなるが、ある日アリスという少女と出会い、大切にされる。本との運命的な出会いを描いた作品。〔小低～〕

算数の天才なのに計算ができない男の子のはなし 算数障害を知っていますか？

バーバラ・エシャム／文 マイク・ゴードン／絵 カール・ゴードン／絵 品川裕香／訳 岩崎書店

マックスは、高校生の問題も解いてしまうほど算数が得意。しかし、学校の授業はまったくできない。算数障害は、計算などのルールを覚えるのが苦手なので、指導方法を変えなくてはならない。日本にも、2%はいると予測される発達障害への認識を広めるための一冊。〔小中～〕

サンタさんのトナカイ

ジャン・ブレット／作・絵　さいごうようこ／
訳　徳間書店

エルフの少女ティーカは、サンタの牧場で、クリスマスまでにトナカイをしつける役目を任される。物語は 12 月 1 日から始まり、各ページの端には、他のエルフたちがクリスマスの準備を進める姿も描かれており、隅々を眺めて発見する楽しさがある。〔幼児～〕

3 びきのくま

ゲルダ・ミューラー／さく　まつかわまゆみ／
やく　評論社

花をつみに森に入ったゴルディちゃんは、迷子になってしまう。そして、森で見つけた風変わりな家を覗くと、テーブルに 3 つのおかゆが用意してあって……。昔話「3 びきのくま」を基にした話で、ゴルディちゃんはサーカス団の娘という設定。〔幼児～〕

さんびきのこねずみとガラスのほし

たかおゆうこ／作・絵　徳間書店

3 匹の子ネズミは、ガラクタ置き場で遊ぶのをいつも楽しみにしている。そこには、使われなくなったが、また何かの役に立ちたいと願うガラクタたちがいた。子ネズミは、ガラクタたちに新たな使い道を見出す。〔小低～〕

しましまとぼちぼち

ダーロフ・イプカー／作　やましたはるお／訳
BL 出版

ジャングルに、トラの親子とヒョウの親子が住んでいた。おなかを空かせたトラの赤ちゃんとヒョウの赤ちゃんが出会い、一緒にえものを探す。最後は母親の元に帰り、お乳をもらう。ジャングルの中の暗い色調にトラとヒョウの黄色が映える。〔幼児～〕

ジャーニー　女の子とまほうのマーカー

アーロン・ベッカー／作　講談社

ある日、女の子は部屋で赤いマーカーを見つける。そのマーカーを使って、壁にドアを描くと本物のドアになり、女の子は不思議な冒険の旅に出る。マーカーの赤色が鮮やかな、字のない絵本。〔幼児～〕

白い街あったかい雪

鎌田實／文　小林豊／絵　ポプラ社

チェルノブイリの原発事故から 10 年後、アンドレイは白血病を発症した。治療のため、医師である作者と一人の看護師が日本から派遣された。食事をとらないアンドレイに、看護師は親身になって世話をする。そのあたたかい心は連鎖し、奇跡をおこす。実話を基にした物語。〔小低～〕

しろうさぎとりんごの木

石井睦美／さく　酒井駒子／え　文溪堂

ある日しろうさぎは、生まれて初めてりんごのジャムを食べて感動する。お母さんから、庭の木にりんごの実がなるのだと教わるが、幼いしろうさぎは何が実かわからず、幹をかじってしまう。子どもの成長を、あたたかく見守る母の愛情が感じられる絵本。〔幼児～〕

スズムシくん

木坂涼／文　廣野研一／絵　福音館書店

5 月、女の子は祖父から土の入った虫かごをもらう。しばらくすると、スズムシたちが誕生し、女の子は世話をしながら観察する。春に孵化し、夏に鳴き、冬を目前に死んでゆくスズムシの一生と上手な飼い方を、著者の 18 年間の飼育経験を基に描く。〔小低～〕

すてきな曲芸師アンジェロ

クエンティン・ブレイク／作・絵　谷川俊太郎
／訳　好学社

曲芸を披露しながら、国じゅうを旅して回るアンジェロー家。立ち寄ったとある町に、家に閉じ込められ、働かされている少女がいた。アンジェローは、家族と力を合わせ得意の曲芸で少女を救い出す。〔幼児～〕

すやすやぶー

山本祐司／さく 童心社

「いいいいいこ」ゆうくんがうさぎを撫でると、うさぎは、ゆうくんの膝の上でうとうと。つられて、ゆうくんも一緒に寝てしまう。「ぷーぷーすーすー」と気持ちよさそうに寝息をたてて。〔赤ちゃん～〕

空とぶペーター

フィリップ・ヴェヒター／作・絵 天沼春樹／訳 徳間書店

ペーターは、空を飛ぶことができる。今年の夏休みは、南の島まで飛んでいくことにした。その途中、わたり鳥の仲間に入れてもらうが、仲間の1羽が悪い人間に捕まってしまう。ペーターは知恵を働かせ、鳥たちと力を合わせて仲間を助ける。〔小低～〕

それならいいえありますよ

澤野秋文／作 講談社

ぎんたは大のなまけもので、家は散らかし放題。猫のちゃまるが、動物たちに新しい家を探してやっていることを知ったぎんたは、さっそく「かたづいてきれいな家」を頼む。細部まで遊び心いっぱいに描き込まれた絵が楽しい1冊。〔幼児～〕

そんなときどうする？

セシル・ジョスリン／文 モーリス・センダック／絵 こみやゆう／訳 岩波書店

奇想天外な事態が起こり「そんなときどうする？」と問いかける。その答えとは？緊急事態と礼儀正しい対処法とのギャップが面白い。「岩波

の子どもの本」創刊 60 周年記念出版。1961 年米刊の初邦訳で『そんなときなんていう？』の姉妹作。〔幼児～〕

だいすきだっこ

ニック・ブランド／ぶん フレヤ・ブラックウッド／え 灰島かり／やく 岩崎書店

「ママ、だいすきだっこして」ルーシーは、ママにしてもらった抱っこをパパとお兄ちゃんと妹に、そしてペットのいぬにもしてあげる。おやすみ前のひととき、愛情あふれる家族の姿を描く。〔幼児～〕

たいようもつきも フランチェスコのうた

キャサリン・パターソン／文 パメラ・ドルトン／絵 藤本朝巳／訳 日本キリスト教団出版局

アッシジの聖フランチェスコは、キリスト教の歴史上、最も愛された聖人のひとり。彼の言葉である「太陽の賛歌」を子どもに分かりやすく書き直した。感謝することを忘れず、愛し、平和に暮らすことの大切さを伝える。彩色された切り絵が美しい。〔幼児～〕

だるまのしゅぎょう

ませぎりえこ／作 偕成社

だるままつりの日、さくらとるりの買っただるまが、手から飛び出した。2人はだるまを追いかけて暗い穴の中へ。そこには、たくさんのだるまたちが集まっていた。2人は、だるまたちとともに、立派なだるまになるための修行を受ける。〔幼児～〕

ちいさいきみとおおきいぼく

ナディーヌ・ブラン・コム／文 オリヴィエ・タレック／絵 礒みゆき／訳 ポプラ社

ある日、大きいオオカミの縄張りに、小さいオオカミが現れた。はじめは知らんぷりを決めこむ2匹だが、だんだん心を通わせ始める。ところが、

突然小さいオオカミが姿を消した。いつもひとりだった大きいオオカミは、友だちの大切さに気づく。〔幼児～〕

ちいさいわたし

かさいまり／さく おかだちあき／え くもん出版

いぬのさんぽ、ごあいさつ、ひとりで眠ること。ちいさな「私」は、いろいろなことがうまくできないけれど、いつかちゃんとできるようになる。今はまだその途中にいる、子どもの成長を柔らかな色調で描く。〔幼児～〕

小さなたね

ボニー・クリステンセン／作 渋谷弘子／訳 さ・え・ら書房

春の菜園で、二人の子どもが野菜のタネをまき、水やりや草取りにせっせと世話をやく。小さな緑の芽は、ぐんぐん成長し、実りの時期を迎える。夏の日差しの中で収穫して、家族みんなで食べる。野菜を育てる喜びを版画でみずみずしく描く。〔小低～〕

チェロの木

いせひでこ／作 偕成社

少年の祖父は木を育てる仕事をし、父はチェロを作る楽器職人だった。森を遊び場にし、父の仕事を見て育った少年は、ある時教会でチェリストの演奏を聴く。その演奏に森の空気を感じ心を奪われる。〔小中～〕

ちかちかぴかり

ジョアンB. グレアム／ことば ナンシー・デイビス／え ふじたちえ／やく 福音館書店

太陽やホタルなど、光を発するものを詩で表現した絵本。例えばろうそくは、詩の言葉を使い、赤い字を丸く配置して炎を表現。蠟にあたる部分は、白い字で縦長に配置するなど、詩と文字を使

ってろうそくの形を表現する。〔幼児～〕

ちきゅうがウンチだらけにならないわけ

松岡たつひで／さく 福音館書店

生き物はみんなウンチをするのに、地球がウンチだらけにならないのは、なぜだろうか？問いかけからはじまり、様々な生物の排泄方法やその排泄物が自然界でどのように役立っているかを解説する。〔小低～〕

ちびはち

エドワード・ギブス／作 谷川俊太郎／訳 光村教育図書

「ちびはち ちびはち、なんでにげるの？」「はらぺこかえるがおってくるから！」蜂が逃げ、蛙が追う。蛙が逃げ、蛇が追う。最後には、逃げるハンターを蜂が追い、追いかけてこの輪がつながる。〔幼児～〕

チャーリー、おじいちゃんにあう

エイミー・ヘスト／ぶん ヘレン・オクセンバリー／え さくまゆみこ／やく 岩崎書店

ヘンリーは、子犬のチャーリーと大の仲良し。大好きなおじいちゃんにもチャーリーと仲良くなってほしいのに、おじいちゃんは犬が苦手だと言う。それぞれに歩み寄ろうとする二人と1匹のやり取りが、ほほえましい。〔幼児～〕

チョコレート屋のねこ

スー・ステイントン／文 アン・モーティマー／絵 中川千尋／訳 ほるぷ出版

静かで退屈な村のチョコレート屋にネコがいた。ネコは、主人の作る美味しいネズミ型のチョコを、村の人に食べてもらおうとする。チョコを食べた人は、次々に素敵なアイデアを思いつき、やがて村はにぎやかになる。巻末にチョコレートの解説つき。〔小低～〕

つぎ、とまります

村田エミコ／作 福音館書店

バスがたくさんのお客を乗せて走っている。
“プー”とブザーが鳴り「つぎ、とまります」の
アナウンス。森の入口でためきがバスを降りる。
森をぬけたバスは、海にもぐり、地面の下を進み、
お客たちを降ろしていく。〔幼児～〕

つきごはん

計良ふき子／作 飯野和好／絵 佼成出版社

亡くなったお父ちゃんは、ちわこのよそったご
はんが大好きだった。月命日には、みんなでお父
ちゃんの好物を囲む。家族が父の死を受け入れ
るまでの心の動きを描く。「つきごはん」とは、
作者の造語で、月命日に食べるごはんを指す。
〔小低～〕

月の貝

名木田恵子／作 こみねゆら／絵 佼成出版社

東日本大震災で、家と母親を失った少女の心の
回復の物語。えなは、見知らぬ少年から不思議な
小さな貝をもらう。日ごとに変化する貝が、とう
とう満月のように丸くなった夜、えなは津波にの
みこまれた母の姿を夢に見る。〔小中～〕

月のしずくの子どもたち

ローラ・クラウス・メルメッド／文 ジム・ラ
マルシェ／絵 灰島かり／訳 B L 出版

満月の晩にふる雨は、月のしずくと言われている。
月のしずくの降る晩、子どものいない夫婦は、
草むらの水たまりの中で、親指ほどの小さな赤ち
ゃんを拾う。ふたりは、月のしずくの赤ちゃんを
育てるが、やがて別れがやってくる。〔小中～〕

つなのうえのミレット

エミリー・アーノルド・マッカリー／作・絵
津森優子／訳 文溪堂

ミレットの母が営む宿屋に、かつて綱渡りで名

を馳せた旅芸人のベリーニがやってきた。その日
からミレットは、綱渡りに心奪われ、ベリーニの
指導のもと特訓をはじめ。古きパリを舞台に少
女と旅芸人の心のきずなを描く。〔コルデコット賞
(1993 年)、ニューヨークタイムズ・ベストイラ
スト賞 (1992 年)〕〔小低～〕

つなみてんでんこはしれ、上へ！

指田和／文 伊藤秀男／絵 ポプラ社

「つなみてんでんこ」とは、東北地方の言葉で
「津波のときには、てんでんばらばらに逃げよ」
の意味。東日本大震災の大津波から逃げる釜石の
子どもたちの様子を描く。緊迫した雰囲気ととも
に、人々の思いやりが伝わってくる。〔小中～〕

てつぞうはね

ミロコマチコ／著 ブロンズ新社

てつぞうは、真っ白な大きな猫。暴れん坊だが
「私」のことは大好きで、グルグルと甘えてくる。
しかし、8年目の冬、別れの時がやってきた。伸
びやかなタッチでてつぞうとの思い出を描いた作
品。作者の飼い猫への愛情が伝わってくる。〔幼
児～〕

でんしゃがきた

竹下文子／作 鈴木まもる／絵 偕成社

遮断機が下りて、電車がきた。鉄橋を渡って、
電車がきた。みんな電車が来るのを待っている。
おでかけ、通勤、通学、旅立ち。のどかな田園風
景の中を走る1両の電車。たくさんの人を乗せて
走る都会の電車。電車と、電車を利用する人々の
風景を描く。〔幼児～〕

でんしゃにのったよ

岡本雄司／さく 福音館書店

男の子が、お母さんと電車に乗って東京へ行く。
電車の窓から流れる景色を眺め、お弁当を食べて、
新幹線に乗り換える。電車が好きな男の子のわく

わくする気持ちが伝わってくる。描かれた風景はどこか懐かしい。〔幼児～〕

ときめきのへや

セルジオ・ルツィア／作 福本友美子／訳
講談社

モリネズミのピウスは、落ちている物は何でも拾って持ち帰り、「ときめきの部屋」に飾る。中でも1番大切にしているのは、ありふれた石ころだ。しかし周囲に馬鹿にされ、その石を捨ててしまう。ピウスは失くしてはじめて、他人にはわからなくても、自分にとって大切なものだったことに気づく。〔幼児～〕

図書館に児童室ができた日 アン・キャロル・ムーアのものがたり

ジャン・ピンボロー／文 デビー・アトウェル／絵 張替恵子／訳 徳間書店

19世紀後半のアメリカ。図書館は大人のためのものだったが、アン・キャロル・ムーアは、子どもの読書の大切さを説き、ニューヨーク公共図書館に児童室を作る。児童図書館サービスの基礎を築いた女性図書館員の伝記絵本。巻末にムーアの解説あり。〔小低～〕

としょかんのよる

ローレンツ・パウリ／文 カトリーン・シェラー／絵 若松宣子／訳 ほるぷ出版

夜、キツネはネズミを追いかけて図書館に入り込んだ。そしてネズミに、本はおもしろく、調べ物に役立つことを教えてもらう。本が気に入ったキツネは、その日から毎晩図書館に通い、図書館の利用の仕方を学んでいく。〔幼児～〕

どろんこ！どろんこ！

むらかみやすなり／作 講談社

かえるがぴょんと、どろに飛び込むと真っ黒になって出てくる。ねこもいぬもへびもみんな真

っ黒どろまみれ。さいごは、ぼくとお母さんも。冷たくて、ぬるっとしたどろ遊びの楽しさと気持ちよさが伝わってくる。〔赤ちゃん～〕

なりたいものだらけ

ジェリー・スピネッリ／作 ジミー・リャオ／絵 ふしみみさを／訳 鈴木出版

男の子には大きくなってなりたいものがたくさんある。空想の止まらない男の子は、タンポポのわたげふきやさん、プレゼントあけやさんなどユニークな仕事をつぎつぎと思い描く。〔幼児～〕

庭にたねをまこう！

ジョーン・G. ロビンソン／文・絵 こみやゆう／訳 岩波書店

雪が解け、家の中で遊ぶことにあきた子どもたちは、庭へ飛び出す。落ち葉をはき、土を耕し、タネをまく。やがて、春が来ると庭は草花でいっぱい。庭づくりの喜びを感じる絵本。緑・茶・桃の3色刷り。〔小低～〕

ネコが好きな船長のおはなし

インガ・ムーア／作・絵 たがきょうこ／訳 徳間書店

ネコが好きな「ネコ船長」は、たくさんのネコを船に乗せて旅に出る。途中、嵐で流されて、女王さまの治める島に到着する。その島にはネコがおらず、女王様はネズミに悩まされていた。そこで、ネコ船長のネコたちが大活躍し、城のネズミを退治する。〔小低～〕

バーナムの骨 ティラノサウルスを発見した化石ハンターの物語

トレイシー・E. ファーン／文 ボリス・クリコフ／絵 片岡しのぶ／訳 光村教育図書

1873年、アメリカに生まれた化石ハンターのバーナムが、ティラノサウルスの全身骨格を発掘するまでの道のりを描く。アメリカ自然史博物館に

ある世界最大規模の恐竜化石コレクションを築いた化石ハンターの伝記絵本。〔小中〜〕

はぐ

佐々木マキ／さく 福音館書店

静かな浜辺を背景に、ページの右と左から動物が1匹ずつ登場する。「あいたかったよー」と声をかけ合い、次のページではしっかりと抱き合う。温かみのある色合いで表現された「はぐ」という字体からも、相手を思いやる気持ちが伝わってくる。〔幼児〜〕

はじめての旅

木下晋／文・絵 福音館書店

火災で家を失い、生活は困窮を極めていた。少年は、富山から奈良まで野宿をしながら母に手を引かれて旅をする。作者が幼い頃の記憶をもとにした作品。モノクロームの細密な絵。作者は、富山市出身で日本の代表的な鉛筆画家。〔小上〜〕

はしれディーゼルきかんしゃデーデ

すとうあさえ／文 鈴木まもる／絵 童心社

東日本大震災発生後、被災地では電気が止まり、燃料が不足していた。そこで、東北へ燃料を届けるため、軽油で動くディーゼル機関車が全国から集められた。実際のできごとを基に、今ではあまり見かけなくなったディーゼル機関車たちの活躍を描く。〔小低〜〕

はだかのサイ

ミヒヤエル・エンデ／作 ヨッヘン・シュトゥーアマン／絵 佐々木田鶴子／訳 フレーベル館

アフリカの草原に、ドラサイという乱暴者のサイがいた。動物たちは、ドラサイのいない遠い所へ旅立ち、だれもいなくなる。ドラサイは、支配者の証である銅像を建てようと、自らの体を犠牲にする。エンデの短編を絵本化。〔小高〜〕

ハナちゃんのトマト

市川里美／作 BL出版

ハナちゃん、パパにおねだりしてミニトマトの苗を買ってもらう。夏休み、田舎のおばあちゃんの家に泊まりに行く時も苗を持っていく。おばあちゃんに、畑に植えかえてもらって教わりながら、トマトを育てる。〔幼児〜〕

バナナのはなし

伊沢尚子／文 及川賢治／絵 福音館書店

バナナの皮はなぜ黒くなるのか？タネはどこにあるのか？食べごろは？バナナの木の子育て方や実り方など、バナナのひみつを解き明かす。黄色と緑を主にした色鮮やかなイラスト。月刊誌「かがくのとも」（2009年4月号）のハードカバー版。〔幼児〜〕

パンダ銭湯

tupera tupera／さく 絵本館

「パンダ銭湯」それは、パンダのための銭湯。パンダたちは、黒い手袋と靴下を脱ぎ、サングラスをはずして、シロクマのようになってお風呂に入る。昔ながらの銭湯に入るパンダたちのナンセンスな姿が笑いを誘う。〔小低〜〕

ぱんつくったよ。

平田昌広／作 平田景／絵 国土社

「ぱん つくったよ」が「ぱんつ くったよ」。「ぼけっとから とりだします」は「ぼけっとからとり だします」に。読むときに、くぎる場所をかえると意味が変わってしまう文章を紹介。ことばあそび絵本。〔幼児〜〕

ハンヒの市場めぐり

カン・ジョンヒ／作 おおたけきよみ／訳 光村教育図書

男の子ハンヒは、オンマ（母）と市場に買い物に行く。路地には色とりどりのパラソルが並び、

食料品や雑貨が山盛りになっている。韓国の市場の風景を細かく描き、韓国の庶民の食文化を伝える。〔小低～〕

ピエロのあかいはな

なつめよしかず／作 福音館書店

開園の準備をしていたピエロは、うっかりくしゃみをして赤い鼻を飛ばしてしまう。鼻をはじめに見つけたのはネズミ。それから、鼻は次々とサーカスの動物たちの手に渡っていき、最後はカンガルーの赤ちゃんの手に。周囲の人間もユーモラスに描かれ、細部まで楽しい絵本。〔幼児～〕

ピッキーとポッキーのはいくえほん おし ょうがつのまき

あらしやまこうざぶろう／ぶん あんざいみず
まる／え 福音館書店

お正月、ピッキーとポッキーは、ヤギ先生の所で
お年玉をもらう。ピッキーが言った「おとしだ
ま なにがはいって いるのかな」という呟きに、
先生は「それは俳句だ」と教えてくれる。幼児向
けに俳句を紹介する絵本。ピッキーとポッキーシ
リーズ第3作目。〔幼児～〕

ひとりひとりのやさしさ

ジャクリーン・ウッドソン／文 E. B. ルイ
ス／絵 さくまゆみこ／訳 BL出版

転校生のマヤは、いつもおさがりの服を着て、
変わった弁当を食べている。同級生は、そんなマ
ヤをのけものにしていた。いじめに気づいた先生
は、小石を水に落とし、この波のように一人ひと
りの優しさが広がれば、世界がよくなっていくと
教える。〔小低～〕

ひまわり

荒井真紀／文・絵 金の星社

ヒマワリのタネを撒いてから、タネができるま
での成長を描く。花びらの一枚一枚、タネの一粒

一粒を緻密な絵で正確に表現する。花のつくりや
タネの内部の説明があり、ヒマワリの観察に役立
つ。〔幼児～〕

ひみつの川

マージョリー・キナン・ローリングズ／文 レ
オ・ディロン／絵 ダイアン・ディロン／絵 小
島希里／訳 BL出版

村人が飢え、厳しい生活が続くなか、少女は物
知りの老婆から、魚のたくさん住む“ひみつの
川”の存在を聞く。少女は、川を探しに森へ入る。
「小鹿物語」の作者ローリングズが 1956 年に書い
た作品に、幻想的な美しい絵をつけて絵本として
出版。[ボローニャ・ラガッツイ賞]〔小中～〕

ふかいあな

キャンデス・フレミング／文 エリック・ロー
マン／絵 ながわちひろ／訳 あすなる書房

トラに追われたカエルが、深い穴に落ちた。そ
れを助けにきた動物たちも次々に落ちてしまう。
そして、さいごにはみんなを食べようとしたトラ
が……。リズムカルな言葉が、迫力のある絵にぴ
ったり。おわりにどんでん返しが待っている。
〔幼児～〕

ふしぎなボジャビのき アフリカのむかしばなし

ダイアン・ホフマイアー／再話 ピート・フロ
ブラー／絵 さくまゆみこ／訳 光村教育図書

アフリカの平原に、果物の実る木があった。し
かし、木の下には大きなヘビがいて、だれも近づ
けない。木の名前を当てれば、ヘビはどいてくれ
るという。そこで動物たちは、木の名前を知るラ
イオンを尋ねるが、すぐに名前を忘れてしまう。
アフリカの昔話。〔幼児～〕

ふたつのねがい ふゆのおとぎばなし

ハルメン・ファン・ストラテン／作 野坂悦

子／訳 光村教育図書

わすれられたスノードームの中のゆきだるまは、長い間ひとりぼっち。けれどもある晩、天使が1時間だけねがいをかなえてくれる。ゆきだるまは友だちと楽しい時間を過ごす、別れの時がやってくる。心あたたまる奇跡のお話。〔幼児～〕

プレッツェルのはじまり

エリック・カール／作 アーサー・ビナード／訳 偕成社

ミルクをこぼしたパン屋は、しかたなく水を混ぜてパンを焼く。パンがいつもと違うことに気づいた王様は激怒し、パン屋に難題をふきかける。ドイツの伝統的なパン“プレッツェル”の由来の昔話を基にした。1972年米刊の邦訳。〔幼児～〕

ぺったん！サンドイッチ

鈴木まもる／作 小峰書店

ハムやトマト、たまごやハンバーグを「はさむよー、ぺったん！」。掛け声と共に、おいしそうなサンドイッチができていく。最後に男の子が、頬をお母さんとお父さんの手ではさんで、特別なサンドイッチを作る。〔赤ちゃん～〕

ペンキやさん

あおきあさみ／さく 福音館書店

家にペンキやさんが来た。足場を組んで、飛散防止シートで家を包む。古いペンキを落として、パテでひびを埋めたら、ローラーで新しいペンキを塗っていく。塗装工の仕事の工程がよくわかる。巻末に塗装工の用語と道具の解説がある。〔幼児～〕

ぼくだよぼくだよ

きくちちき／作 理論社

「ぼくのつめのほうがするどいよ」「ぼくのきんにくのほうがつよいよ」ライオンとヒョウの子どもが、どちらがより立派か自慢しあう。やがて

自慢は空想世界に広がっていく。じゃれあうような2匹の姿と空想世界を色の混ざり合う水彩画でのびやかに描く。〔幼児～〕

ぼくのサイ

ジョン・エイジー／作 青山南／訳 光村教育図書

男の子は、ペットショップでサイを買う。はじめはおとなしいサイを可愛がるが、何もしないことに不満がつる。ある日、気球で逃げる銀行強盗に遭遇し、サイは空を飛び気球を破る。〔幼児～〕

ぼくの手わたしの手

中川ひろたか／作 斉藤美春／写真 保育社

モノクロ写真絵本。「あそぶ手」「つかう手」などの短い言葉で、いろいろな人がそれぞれの場面で使う手の表情をとらえる。〔幼児～〕

ぼくのふとんはうみでできている

ミロコマチコ／著 あかね書房

海の布団は「ザーンザーン　ぐうぐうぐう」。猫の布団は「もぞもぞもぞ　ぐうぐうぐう」。パンの布団は「ふかふかふか　ぐうぐうぐう」。思いがけない布団が次々飛び出す。様々な布団を表現する擬音が楽しい。〔幼児～〕

ぼくらのひみつけんきゅうじょ

森洋子／作・絵 PHP研究所

道端に落ちている木の棒も、使い慣れた三輪車も、みんなで研究すれば楽しいおもちゃに早変わりする。昭和の町並みの中、子どもたちが身近なものを使って上手に遊ぶ様子を描く。モノクロの鉛筆画に、ところどころ入る赤色が印象的。〔幼児～〕

ボタン

森絵都／作 スギヤマカナヨ／絵 偕成社

クローゼットにしまっている赤い箱には、ボタンがたくさん入っている。ママが、古い洋服を手放す時にボタンを残しておいたのだ。色とりどりのボタンは、少女にとって宝物。少女は、ボタンがどんな洋服についていたのか想像をめぐらす。
〔幼児～〕

本、だ～いすき！

ジュディ・シエラ／文 マーク・ブラウン／絵
山本敏子／訳 新日本出版社

図書館で働くモリーは、まちがえて自動車文庫のバスを動物園に乗り入れてしまう。モリーが声を出して本を読みはじめると、動物たちは何事かと興味深々。本の楽しさを知った動物たちは、本に夢中になってしまう。〔幼児～〕

まだだよまだだよ

村上しいこ／文 市居みか／絵 講談社

1年かけてゆっくり梅干しを作るおばあちゃん。お手伝いをするたびに「もう、たべられる？」と聞いてみるが、答えはいつも「まだだよ、まだだよ」。時間と手間をかけて作る梅干しと、子どもの成長を重ねるラストシーンがあたたかい。〔幼児～〕

まちにはいろんなかおがいて

佐々木マキ／文・写真 福音館書店

マンホールのふたや、家の窓など、顔に見える物を集めた写真絵本。まちの中の見慣れた物が、目や口のついた顔に見えてくる。月刊誌「こどものとも」（1997年9月号）のハードカバー版。
〔幼児～〕

マッチ箱日記

ポール・フライシュマン／文 バグラム・イバ
トゥーリン／絵 島式子／訳 島玲子／訳 B L
出版

女の子は、古いマッチ箱に納められた品々を取

り出しながら、曾祖父から昔の話を聞く。マッチ箱には、思い出の品物が入っており、当時、読み書きのできなかった曾祖父が日記の代わりに残した物だったのだ。アメリカのイタリア系移民の物語。〔小高～〕

まほうのでんしレンジ

たかおかまりこ／原案 さいとうしのぶ／作・
絵 ひかりのくに

家にまほうの電子レンジが届く。電子レンジにからっぽのお皿を入れると、準備完了。食べたいものを歌ってリクエストすると、お皿いっぱいのごちそうができあがる。縦にめくる絵本。巻末に歌の楽譜あり。〔幼児～〕

まめじかカンチルの冒険 インドネシアの昔話

松井由紀子／再話 安井寿磨子／絵 福音館書店

ワニに食べられそうになったマメジカのカンチルは、知恵を働かせて難を逃れる。マメジカは、ひづめのある動物の中で一番小さく、体重はわずか2kgほど。マメジカが主人公のインドネシアの昔話集。〔小低～〕

マリアンは歌う

パム・ムニョス・ライアン／文 ブライアン・
セルズニック／絵 もりうちすみこ／訳 光村教育図書

1897年アメリカに生まれた、類まれな才能を持つ黒人女性歌手マリアン・アンダーソン。彼女は、人種差別にあいながらも歌い続け、リンカーン記念堂でのコンサートで大成功を収める。セピア色の重厚な絵で、マリアンの表情を豊かに描く。
〔小上～〕

道はみんなのもの

クルーサ／文 モニカ・ドペルト／絵 岡野富

茂子／共訳 岡野恭介／共訳 さ・え・ら書房

急激に都市化が進んだベネズエラが舞台。住む土地のない人々は、山を切り開いて斜面にひしめきあって暮らしている。遊び場のない子どもたちは、小さな空き地を公園にしてほしいと大人たちに訴える。ベネズエラのロングセラー絵本を邦訳。
〔小中〜〕

みつけたよさわったよにわのむし

澤口たまみ／ぶん 田中清代／え 福音館書店

みなちゃんは、植木鉢の下に虫を見つけた。よく見ると、庭にはたくさんの小さな生き物がいる。ダンゴムシなど、生き物の名前や特徴を母親に教わりながら、手でさわって確かめていく。月刊誌「かがくのとも」（2007年4月号）のハードカバー版。〔幼児〜〕

ミルクこぼしちゃだめよ！

スティーヴン・デイヴィーズ／文 クリストファー・コー／絵 福本友美子／訳 ほるぷ出版

西アフリカのお話。ペンダは放牧に出ているお父さんに、ミルクを届けに行く。ミルクの入ったおわんを頭に乘せて、一滴もこぼさないでたどり着くが、最後の最後で全部こぼれてしまう。泣き出すペンダに、お父さんは優しく語りかける。
〔幼児〜〕

むしとりにいこうよ！

はたこうしろう／作 ほるぷ出版

兄弟がむしとりにでかける。お兄ちゃんは、石をひっくり返したり、葉っぱを裏返したりしながら、弟に身近な虫の見つけ方を教えてやる。ちょっと視点を変えると、いつもの道端も発見にあふれていることに気づく。兄弟の会話も楽しい。
〔幼児〜〕

もう、おおきいからなかないよ

ケイト・クライス／文 M・サラ・クライス／

絵 福本友美子／訳 徳間書店

もうすぐ5歳になるうさぎくんは、泣かないと決意する。お誕生会は泣かない友だちだけを招待しようとするが、みんなに断られてしまう。そして、ママから大人だって泣くことがあると教えてもらう。〔幼児〜〕

もしも、ぼくがトラになったら

ディーター・マイヤー／文 フランツィスカ・ブルクハルト／絵 那須田淳／訳 光村教育図書

小さなネズミの男の子オスカーは、大きな動物たちから逃げまわる日々に疲れていた。そこで魔法使いにお願いし、トラにしてもらう。願いは叶ったものの、動物たちを食べることができず、痩せ細ってしまう。〔幼児〜〕

もちっこやいて わらべうたの「もちっこやいて」より

やぎゅうげんいちろう／さく 福音館書店

北風の子どもや鬼たちがばっちゃんの家を集まって、みんなでわらべうたを歌いながら餅を焼く。わらべうたの「もちっこやいて」をテーマにした絵本。シリーズに『おてらのつねこさん』『おなべふこどもしんりょうじょ』がある。〔幼児〜〕

もりのおきやくさま 「三びきのくま」のさかさまのおはなし

ブリントン・タークル／作 こぐま社

子グマが森の中の家に忍び込む。そして、テーブルの上のスープを飲んだり、椅子を壊したり。最後は小さなベッドで寝てしまう。そこへ人間が帰ってきて……。昔話、「三びきのくま」のクマと人間をさかさにした、文字のない絵本。〔幼児〜〕

やじるし

平田利之／作 あかね書房

花をつみに出かけた女の子は、「のはら」と書

かれた「やじるし」に出会う。やじるしの指す方に進んでいくとなぜか海に。すると、やじるしは船の形になる。やじるしは、いろいろな形に姿を変えて、女の子をちょっとした冒険に誘う。〔幼児～〕

ゆきのうえゆきのした

ケイト・メスナー／文 クリストファー・サイラス・ニール／絵 小梨直／訳 福音館書店

雪の林の中を、女の子とお父さんがスキーで滑っていく。辺りは真っ白で静かだが、雪の下では、小さいきものたちが寒さから身を守るように暮らしている。厳しい冬を乗り越える生き物たちの姿を紹介。巻末には絵本に登場した生き物の解説あり。〔幼児～〕

よーし、よし！

サム・マクブラットニィ／文 アイヴァン・ベイツ／絵 福本友美子／訳 光村教育図書

こぐまのハンシは元気いっぱい遊びまわりますが、そのたびに怪我をしてしまう。するとお父さんがやってきて、「よーしよし！すぐによくなるよ」と声をかけ抱きしめてくれる。お父さんが怪我をしたら、今度はハンシが同じようにしてあげる。〔幼児～〕

よるのとしょかん

カズノ・コハラ／作 石津ちひろ／訳 光村教育図書

夜だけ開いている図書館に、動物たちが訪れる。図書館員のカーリーナは、利用者の様々な要望をかなえようと働く。プレイルームや読み聞かせコーナーなど、図書館の機能を案内する内容にもなっている。紺と黄色の対比が鮮やかな、版画の絵本。〔幼児～〕

ライオンをかくすには

ヘレン・スティーンズ／作 さくまゆみこ／

訳 ブロンズ新社

心やさしいライオンは、町の人たちに追われて、アイリスの家に逃げ込む。アイリスは、家族に見つからないように、あの手この手でライオンをかくす。軽快なペン画で、ライオンと女の子の関係をほほえましく描く。〔幼児～〕

りんごかもしれない

ヨシタケシンスケ／作 ブロンズ新社

男の子が学校から帰ってくると、テーブルの上にりんごが置いてある。でも、もしかしたらこれはりんごじゃないかもしれない……。大きなサランボの一部かもしれないし、何かのタマゴかもしれない。たった1個のりんごから、少年の空想は膨らんでいく。〔小低～〕

わすれないよいつまでも 日系アメリカ人少女の物語

ヨシコ・ウチダ／文 ジョアナ・ヤードリー／絵 浜崎絵梨／訳 晶文社

1942年、アメリカと日本との間で戦争が始まると、アメリカに住む日系アメリカ人は、人里離れた強制収容所へ送られた。エミもまた、友だちや住みなれた家と別れ、強制収容所へ出発する。戦時中、迫害された日系アメリカ人たちの境遇を描く。〔小高～〕

わたしたちのてんごくバス

ボブ・グレアム／さく こだまともこ／やくさ・え・ら書房

ある朝、ステラの家の前に、壊れて動かなくなったバスが放置されていた。ステラは、このバスを街の憩いの場にすることを提案する。みんなで協力してバスをきれいにするが、突然レッカー車がやってきて、バスを撤去しようとする。幼いステラの無邪気な発想がバスを守る。〔幼児～〕

わたしには夢がある

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア／文
カディール・ネルソン／絵 さくまゆみこ／訳
光村教育図書

1963 年アメリカ。リンカーン記念堂に、自由と職を求める 20 万人もの人々が集まった。その「ワシントン大行進」の際に、キング牧師が行った演説「I Have a Dream」の象徴的な部分を抜粋し、リアリティ溢れる絵をつけて絵本化したもの。
〔小高〜〕

わたしもがっこうにいきたいな

アストリッド・リンドグレン／文 イロン・ヴィークランド／絵 石井登志子／訳 徳間書店

5 歳のレーナは、兄ペーテルが通う学校に行ってみたくてしかたない。そこでペーテルは、レーナを学校へ連れて行くことに。先生もクラスメイトもレーナを温かく迎えてくれ、レーナは 1 日学校生活を体験する。〔幼児〜〕

わらべうたであそびましょ！

さいとうしのぶ／編・絵 のら書店

男の子が、鏡の前で「あがりめ さがりめ」をして遊んでいると、鏡の中からねこが飛び出してくる。だるまやたぬきも出てきて、一緒にわらべうたで遊ぶ。本の見返しにわらべうたの楽譜が書いてあり、読んで、歌って、遊べる絵本。〔幼児〜〕

物語 1・2年生

K913 77 チューリップかほちゃん

あさのあつこ／作 石井聖岳／絵 毎日新聞社

かほちゃんは、泣き虫でお花が大好きな女の子。ある日、幼稚園の花壇が荒らされた。しおれたチューリップを家に持って帰ったかほちゃんは、その夜、チューリップの力で〈チューリップかほちゃん〉に変身し、犯人を捕まえにいくことにした。

K913 79 ジャングル村はちぎれたてがみで大さわぎ！

赤羽じゅんこ／作 はやしますみ／絵 くもん出版

いたずらもののふたごのリスザルが、郵便配達のかばんから持ち出した手紙を破ってしまう。ちぎれた手紙を読んだナマケモノのナマくんは、大蛇のおばさんがふたごを捕まえた勘違いして大騒ぎ。

K913 7+ みどりのスキップ

安房直子／作 出久根育／絵 偕成社

みみずくは、満開の桜の下に座っている女の子と出会う。その子は桜のかげだと名乗り、桜が散ると消えてしまうと打ち明ける。そこでみみずくは、花が散らないように桜の木を見張ることにした。そんなある晩、だれかが桜の林に飛び込んできた。

K913 17 こぎつねボック

いまむらあしこ／作 鎌田暢子／絵 文研出版

森に住むこぎつねボックは、なんでも自分でやりたがる男の子。でも、まだ小さいので、うまくできなくて失敗ばかり。おねえちゃんに怒られたボックは、家を飛び出し、行ってはいけないと言われて森の奥に入ってしまう。

K913 イ ドングリカプセル 11月のおはなし

市川宣子／作 松成真理子／絵 講談社

ふうは親友のあきが引っ越すことを知り、驚く。その様子を見ていたおじいさんが、二人につやつやのどんぐりをくれた。その実をぎゅつとにぎると、どんぐりの木が毎日見守っていた二人の思い出がよみがえってきた。

K913 ウ からっぽぽぽ！

うどんあこ／作 やまもとゆか／絵 文研出版

算数が苦手なまさしは、宿題がいやで教科書と鉛筆をごみばこに捨ててしまった。あわてて拾おうとして中をのぞくと、まさしはごみばこに吸い込まれてしまう。そこには教科書と鉛筆がいて、おかしい歌を歌いだした。

K913 ヲ 星おとし

宇佐美牧子／作 下平けいすけ／絵 文研出版

ことみはおばあちゃんに〈星おとし〉を教えよう。大事な願い事をしている子のところには、お星さまが落ちてくるというのだ。ある日、具合が悪くなり病院に運ばれたおばあちゃんを助けようと、ことみは星おとしをすることにした。

K913 ク もしかしてぼくは

内田麟太郎／作 早川純子／絵 鈴木出版

へびのによろくんがご機嫌で散歩をしていると、ヘビクイワシにつかまってしまった。リスやバツタがによろくんを助けようとするが、ワシにやられてしまう。「あきらめちゃ、だめ」そう思ったによろくんは、思い切ってヘビクイワシに反撃に出る。

K913 カ さいこうのスパイス

亀岡亜希子／作・絵 PHP研究所

オオカミは料理自慢のシェフ。ところが、リスのぼっちゃん、何を食べても「まずい」という。悩んだオオカミは最高のスパイスといわれる〈お

いし草〉を取りに行くことにする。

K913 カイ ながいおるすばん

垣内磯子／作 宮崎照代／絵 あかね書房

なつかのお母さんが急に入院することになった。姉が学校から帰るまで、一人で留守番をすることになったなつか。さびしさをこらえてがんばっているなつかの前に、まほうつかいの女の子が遊びにきてくれた。

K913 カ ことやぶ医院は、なんでも科

柏葉幸子／作 山西ゲンイチ／絵 佼成出版社

嘘をついて学校を休んだ日、さやが連れて行かれたのは〈こやぶ医院なんでも科〉。待合室にいたのは、さやと同じように嘘をついて学校を休んだきつねのこんだだった。こやぶ先生にしかられた二人は往診の手伝いをするようになる。

K913 コ しばけのクリリン

こさかまさみ／作 さとうあや／絵 福音館書店

クリリンは、幼稚園に住んでいるオバケ。子供たちが大好きなクリリンは、びっくりさせないよういつも隠れている。ある時、先生が休みだと知ったクリリンは、先生に化けて子供たちといっしょに遊ぶことにした。

K913 セ ねこのたからさがし

さえぐさひろこ／作 はたこうしろう／絵 鈴木出版

学校帰りのあかりとゆうたは、リュックを背負ったぶちねこに出会った。宝探しをしているというねこといっしょに、二人が原っぱの地下へもぐると、小さな部屋があった。そこに、宝の鍵が隠してあるという。

K913 セ ぎつねいちねんせい

斉藤洋／作 にきまゆ／絵 あかね書房

人間に化けて小学校へ行ったこぎつね。先生が連れて行ってくれた1年生の教室で、授業を受けたり、給食を食べたりと学校を楽しむ。そして、帰りのあいさつのとき、こぎつねはうっかりおしりからしっぽを出してしまった。

K913 ㄆ おばけのナンダッケ

巢山ひろみ／作 石川えりこ／絵 国土社

くいしんぼうのおばけナンダッケは、人の考え事を食べるのが大好き。ナンダッケに考え事を食べられてしまったパン屋さんは、パンを焼いているのをすっかり忘れ、真っ黒に焦がしてしまう。

K913 ㄱ ふたつのゆびきりげんまん

そうまこうへい／作 マスリラ／絵 小峰書店

ひろとは、父親の仕事の都合で楽しみにしていたおばけやしきに行けなくなってしまった。親友のおとるに、そのことが言えなかったひろとは、おばけやしきに行ったとつい嘘をついてしまう。

K913 ㄴ 鬼まつりの夜 2月のおはなし

富安陽子／作 はせがわかこ／絵 講談社

節分の夜のこと。ケイタが夜中に耳にしたのは「鬼ごっこするもん、この指とまれ」という歌だった。外で歌っている子と目が合ったとたん、ケイタは吸い寄せられるように窓から飛び出し、その子の指を握っていた。

K913 ㄷ わたし小学生まじょ

中島和子／作 秋里信子／絵 金の星社

魔女のおばあちゃんをもつリリコ。6歳の誕生日に魔法のほうきをもらうが、ママは魔女になるのに大反対。ある日、ほうきに乗って学校へ飛んできたのを同級生の男の子に見つかってしまう。

K913 ㄹ ペンギンペペコさんだいかつやく

西内ミナミ／作 西巻茅子／絵 鈴木出版

水族館生まれのペンギンのペペコさんは、まだ

ショーにでたことがない。ある日、町へでかけたペペコさんは人間の男の子に出会い、いっしょにプールに行く。そこでペペコさんは、とてもいいことを発見した。1991年童心社発行の絵本を幼年童話にしたもの。

K913 ㄷ ー むしむしたんけんたい 1 なきむしの巻

西沢杏子／文 西原みのり／絵 大月書店

おばあちゃんとまゆはマツムシを大事に飼っている。ところが、虫が苦手な兄りゅうたのせいでマツムシの足が1本もげてしまった。泣き出したまゆは、気がつくとき小さくなっていて、マツムシの世界に迷い込んでいた。

K913 ㄷ ー せかいでいちばん大きなおいも

二宮由紀子／作 村田エミコ／絵 佼成出版社

畑から掘り出した大きなおいも。そのおいもは〈世界で一番大きなおいも〉なので、世界で一番大きな人に食べられたいと旅に出た。とうとう世界で一番大きな人に出会ったおいもは自分を食べて欲しいと頼むが断られてしまう。

K913 ㄷ ー しょうぶだしょうぶ！ 先生vsぼく

野村一秋／作 ささきみお／絵 文研出版

イサムは、いつもガミガミ怒ってばかりのガミヤマ先生と対決することになった。勝ったら、ひとつだけ先生に注文を付けられるのだ。最初の勝負はジャングルジムでのおにごっこ。男と男の真剣勝負だ。

K913 ㄷ ー ドキドキ新学期 4月のおはなし

はやみねかおる／作 田中大六／絵 講談社

タケシの妹、春が1年生になった。春は、催眠術をかけたりロボットを作ることができる天才少女だ。タケシが学校でうまくいなくて落ち込んでいると、春がタイムマシンを作ってくれた。春

は、タケシを1年生の4月にタイムスリップさせる。

K913 ハ たまたま・たまちゃん

服部千春／作 つじむらあゆこ／絵 WAVE
出版

うどん屋の一人娘たまちゃんは、おしゃれなケーキ屋の娘プリンをうらやましく思っている。そこでプリンは、お互いに入れ替わろうと提案した。たまちゃんは、はりきって新作ケーキを作る手伝いをする。

K913 ハ まいにちいちねんせい

ばんひろこ／作 長谷川知子／絵 ポプラ社
たつやは、拾った子ネコをランドセルに入れて学校に連れて行く。そのことを知っているゆきは、見つかったらどうしようと気が気じゃない。そんなとき、子ネコがランドセルの中でうんこをしてしまい、教室が大騒ぎになる。元気いっぱいな1年生の様子を描いた作品。

K913 フ サークスさっちゃん

藤本四郎／作 文研出版
しょうたのクラスに、サーカス団のさっちゃんが転校してきた。かわいくてきばきしているさっちゃんは、人気者になる。しょうたも気になって夢に見るほどだ。しかし、さっちゃんはまたすぐに転校していくことになる。

K913 フ 家出しちゃった

藤田千津／作 夏目尚吾／絵 文研出版
「もう、うちの子じゃありません」としかられたコウくんは、リュックに荷物をつめて家出をする。コウくんは、公園で出会った友達といっしょに歩き回るうちに、迷子になってしまう。

K913 フ じゃんけんのすきな女の子

松岡享子／さく 大社玲子／え 学研教育出版

じゃんけんが大好きで、何でもじゃんけんで決める女の子がいた。ある日、女の子のもとにねこがやってきてじゃんけんをしようと言い出す。勝ったほうが、この家の子どもになれるというのだ。

K913 マ にひきのいたずらこやぎ

松居スーザン／作 出久根育／絵 佼成出版社
おばあさんは市場で2匹のこやぎを買った。ところが、いたずら好きの2匹は逃げ出して、舞台上で踊ったり、市場で駆け回ったりと大騒ぎ。道に迷ったこやぎたちは、小さな家を見つけると、勝手に中に入って、家をめちゃくちゃにしてしまった。

K913 ミ あいうえおのせきがえ

宮下すずか／作 いたうのぶや／絵 くもん出版
五十音表の〈あいうえお〉たちは、決まった順番に並ぶのに飽きて、席替えをすることにした。いつも最後の〈ん〉と〈わ〉が最初のマスに入ることに。すると、ほかの文字たちも別の場所に入りたいと騒ぎ出した。

K913 ミ やあ、やあ、やあ！おじいちゃんがやってきた

村上しいこ／作 山本孝／絵 B L出版
クラスに、何故かまさきのおじいちゃんが転校してきた。隣の席になったまさきは、宿題でおじいちゃんのいいところを探すことになる。ところが、おじいちゃんはいくら探しても見つからない。そこで、家族におじいちゃんのいいところを聞いてみることにした。

K913 ミ 魔女がまちにやってきた

村上勉／作 偕成社
年をとった魔女がほうきにのって、人間のまちへ引っ越してきた。見るものすべてが珍しい魔女は、自転車にのって出かけるがころんでしまう。

町の人たちは、薬草で作った薬で魔女が元気になったのを見て、話しかけてきた。

K913 ㊦ おすすめ！近藤くん

最上一平／作 かつらこ／絵 WAVE出版

元気いっぱい近藤君は、今日も教室で大騒ぎ。となりの席のあいちゃんがかえるを好きなことを知り、ちいさなちいさなあまがえるを持ってきた。それを見た同級生たちがはやし始める。

K913 ㊦ 雨がしくしく、ふった日は 6月の おはなし

森絵都／作 たかおゆうこ／絵 講談社

くまのまーくんには、雨の降る音が〈しくしくしくしく〉と聞こえ、誰かが泣いているようで気になって仕方がない。そこでまーくんは、誰が泣いているのか探しに行くことにした。

K913 ㊦ くものちゅいえこ

森川成美／作 佐竹美保／絵 PHP 研究所

くものちゅいえこは、古道具屋の扇風機の中に住んでいた。ところが、その扇風機が買われてしまった。ちゅいえこは新しい家をつくることになる。次に住まいに決めたのは、大きな古時計の中だった。

K913 ㊦ くつかくしたの、だあれ？

山本悦子／作 大島妙子／絵 童心社

おとなしいユキは、仲良しで活発なかなちゃんと絵を描くのを楽しみにしていた。ところが、休み時間にドッジボールをすることになったため、遊べなくなる。「かなちゃんが外にいけなくなればいいのに」と思ったユキは、つい、くつをかくしてしまう。

K933 シマ なぞのかみきれをおえ！ ぼくはめ いたんてい

マージョリー・W. シャーマット／ぶん マー

ク・シーモント／え 小宮由／やく 大日本図書

ネートの家の前に破れた紙が落ちていた。そこには「うたい」という字が書かれていたが、これはいったいどういう意味なんだろう？謎を解くため、名探偵ネートと相棒のスラッジが活躍する。訳者も新たに新シリーズ刊行。

K953 ㊦ ゾウの家にやってきた赤アリ

カタリーナ・ヴァルクス／作・絵 伏見操／訳
文研出版

ゾウのドクター・フレッドは、元気な赤アリの女の子ココといっしょに暮らすことにした。ところが夕方になってもココがやってこないで、心配になったフレッドは探しに出かける。そのころ、ココは広い湖の真ん中に流されて、困っていた。

K913 7カ ハセイルカのハルカが泳いだ日

麻生かづこ／作 ミヤハラヨウコ／絵 佼成出版社

漁の網にかかったハセイルカの赤ちゃんが水族館に運び込まれる。ハルカと名付けたイルカの命を救おうと、飼育員は力を合わせて介護を続けた。大分県の水族館での実話を基にした物語。

K913 11 ナンてだじゃれなお正月 1月のおはなし

石崎洋司／作 澤野秋文／絵 講談社

門松を買いに行ったさくらは、年神と名乗る男の子に出会う。正月の朝、その年神くんがさくらの家を訪ねてきた。神主さんのような格好をしていて、鏡もちやおせち料理の謂れを教えてくれる。

K913 12 わたしのひよこ

礪みゆき／文 ささめやゆき／絵 ポプラ社

ひな子は、おまつりで買ってもらったひよこをピーコロと名付けて可愛がっていた。ある日、クラスの女の子たちが「可愛い」と騒いで取り合いになる。嫌われたくないひな子は「やめて」と言えないでいた。その翌日、ピーコロは死んでしまう。

K913 13 かあちゃん取扱説明書

いとうみく／作 佐藤真紀子／絵 童心社

哲哉は、いつもかあちゃんにしかられてばかりいる。けれどもかあちゃんは、ほめられると哲哉に優しくなる。扱い方がわかれば、かあちゃんを思い通りにできると考えた哲哉は、〈かあちゃん取扱説明書〉を作ることにした。

K913 14 魔女のシュークリーム

岡田淳／作・絵 B L 出版

ダイスケはシュークリームが大好きだ。ある日、ダイスケの前に言葉を話す動物たちが現れる。魔女が動物たちの命をシュークリームの中に隠し持っている、助けて欲しいというのだ。普通の100倍の大きさのシュークリームを食べて、動物たちを救い出すことができるだろうか。

K913 15 パオ〜ンおじさんと夏

かまだしゅんそう／作 柴田文香／絵 新日本出版社

へいわが〈パオ〜ンおじさん〉と出会ったのは、動物園での絵本の読み語りのときだった。戦争中の動物のことを力いっぱい語るおじさんに興味を持ったへいわ。翌年、再び出会ったおじさんの様子がおかしい。実はおじさんは、パーキンソン病を患っていたのだ。作者自身の体験を交えつつ、戦争と病気に向き合う1冊。

K913 17 ねこのかんづめ

北ふうこ／作 鴨下潤／絵 学研教育出版

最近、たくやの家のねこ、トラキチに元気がない。心配になったたくやがキャットフードを買いに行くと、ピエロのかんづめやを見つける。〈ねこのかんづめ〉を買ったたくやが家で開けてみると、なかから真っ白なこねこが出てきた。

K913 18 ネバーギブアップ！

くすのきしげのり／作 山本孝／絵 小学館

ジュンのクラスで腕ずもう大会が開かれることになる。しかし、腕ずもうが弱いジュンは嫌でたまらない。そのことに気付いた先生は、毎朝いっしょに特訓をしようという。そして、とうとう大会当日がやってきた。

K913 19 花びら姫とねこ魔女

朽木祥／作 こみねゆら／絵 小学館

大変美しくて気まぐれな〈花びら姫〉は、妖精に呪いをかけられ、醜い老婆の姿になってしまっ

た。呪いを解くには、特別なねこを見つけなくては
いけないという。そこで花びら姫は、国中のね
こをさらって、特別なねこを探そうとする。

K913 コ いずみは元気のかたまりです

こばやしかずこ／作 サカイノビー／絵 国土
社

としふみの団地に引っ越してきた女の子、いず
み。いつも元気すぎるので、としふみはちょっと
苦手だ。ある日、大切にしていたかたつむりが死
んでしまい、いずみは落ち込む。そのときはじめ
て、としふみはいずみの元気のもとが、亡くなっ
たお父さんとの約束だと知る。

K913 コリ あいしてくれて、ありがとう

越水利江子／作 よしざわけいこ／絵 岩崎書店
おじいちゃんは、いつも突然やってきて、ロウ
るさい。けれども、おいしいおにぎりを作ってく
れたり、ふすまに自由に絵を描かせてくれたりと
楽しいこともたくさんある。そんなおじいちゃん
が亡くなり、家族は悲しむが、心の中はおじい
ちゃんが残してくれた愛情で満たされていること
を感じる。

K913 コル お手紙ありがとう

小手鞠るい／作 たかすかずみ／絵 WAVE
出版

公園にたっている大きな榎の木が、スポーツセ
ンターの建設のため切り倒されることになった。
これまで、たくさんの子どもたちがその木の下で
泣いたり笑ったりして過ごしてきた思い出の木だ。
それを知った子ども達は榎の木を守るため、手紙
を書くことにした。

K913 ㉔ ラッキィ・フレンズ アキラくんの ひみつ

佐川芳枝／作 結布／絵 講談社
有名な人形作家を父に持つ瑠衣。ある日、キッ

ズダンスで人気のアキラが、父の元へ人形制作の
依頼をしにきた。次第に仲良くなったある日、ア
キラは瑠衣をコンサートのバックダンサーに誘う。
しかし、その日は瑠衣のバレエの発表会の日だっ
た。

K913 ㉕ こたえはひとつだけ

立原えりか／作 みやこしあきこ／絵 鈴木出
版

妹が生まれたユミは、思わず「赤ちゃんなんか
いなければいいのに」と言ってしまう。すると突
然怪しい男が現れて妹をつれさった。妹を取りか
えそうと追いかけるユミに、男は一つの質問をす
る。正しい答えは一つだけ。間違えれば、妹は鳥
にされてしまう。講談社 1977 年刊の補筆。

K913 ㉖ わらうきいろオニ

梨屋アリエ／作 こがしわかおり／絵 講談社
山にすむきいろオニは、子供たちと友達になり
たくて人間の小学校に行く。そこで出会った子供
たちから「へんなオニ」とはやしたてられるが、
嫌われたくないきいろオニは無理をして笑ってい
た。すると、そのうちに体の様子がおかしくなっ
てしまい……。

K913 ㉗ ねこの郵便屋さん

中村翔子／作 たごもりのりこ／絵 佼成出版
社

1 匹の子ねこが老夫婦の家に迷い込む。ミルク
と名付けて可愛がっていたが、しばらく帰ってこ
ないことがある。不思議に思った夫婦は、ミルク
の首に手紙をつけることにした。数日後、帰っ
てきたミルクの首には子どもの字で書かれた返事
があった。実際に手紙を運んだネコをモデルにし
た物語。

K913 ㉘ ふわふわ 白鳥たちの消えた冬

中山聖子／作 尾崎真吾／画 福音館書店

香枝の住む町には大きな池のある公園があり、みんなに親しまれていた。ところが鳥インフルエンザが発生したため、池の鳥たちが殺処分されることになる。香枝は母や獣医の父に憤りを抱くが、その作業を行なう人たちの心の痛みも知り、複雑な気持ちになる。

K913 ㊦ トイプードル警察犬カリンとフーガ

中村文人／作 岡本順／絵 佼成出版社

しつけを受けるため犬の訓練所に入所したトイプードルのカリンとフーガ。覚えが早く優秀な2頭は、嘱託警察犬の試験を受けることにする。鳥取県での実話を基に描かれた物語。

K913 ニㄨ クモばんばとぎんのくつした

仁科幸子／著 偕成社

なめくじのニュルは、虫たちから嫌われいつも一人ぼっち。ある朝、美しい景色を見に行った丘で、クモのばんばに出会う。美しい自然の色で染めた糸で編み物をするばんば。そのばんばの店でニュルは手伝いを始めた。

K913 ニㄢ 6人のお姫さま

二宮由紀子／作 たんじあきこ／絵 理論社

ある国に2つのお城。1つには美しいお姫様が6人、もう1つのお城には王子様が6人暮らしている。またこの国には、魔力の弱い17人の魔女がいた。魔女たちは一番美しいお姫様に魔法をかけることにしたが、みんな面倒くさがってうまくいかない。

K913 ニㄣ ねむの花がさいたよ

にしがきようこ／作 戸田ノブコ／絵 小峰書店

きららの母が突然亡くなった。しかし、実感がわかないきららは、形見の電話に母から連絡があるような気がしてならない。祖父母と叔母とともに母がいないことを悲しみながらも、互いに支え

日々を過ごしていく。大きな悲しみの中で、家族とともに日々を過ごし立ち直っていく少女の心を描いた作品。

K913 ㄆㄣ ひとつのねがい

はまだひろすけ／作 しまだ・しほ／絵 理論社

町外れに立っている1本の街灯。年老いた街灯は1つの願いを持っていた。それは一生に一度だけでも星のように輝きたいというものだった。虫たちに馬鹿にされながらも立ち続けていた街灯は、嵐の晩に人間の男の子から「星よりも明るい」と言ってもらえることができた。初の絵本化。

K913 ㄆㄤ オバケたんてい

藤江じゅん／作 吉田尚令／絵 あかね書房

ふたりのオバケが、夜遅くまで起きている男の子の前に現れるが、ちっともびっくりされない。ため息をついている男の子に理由を聞いてみると、妹のバースデーケーキからいちごがなくなり、犯人にされるかもしれないと悩んでいたのだ。オバケたちは男の子に協力して犯人探しをはじめる。

K913 ㄇㄢ 探偵犬スコットと仲間たち

正岡慧子／作 福田岩緒／絵 PHP研究所

翔太は、飼い犬のスコットと散歩の途中に誘拐事件を目撃する。青年が犯人の要求した宝石を届けた後で行方不明になるなど、なんだか怪しい事件だ。犬のスコットとシャーロック・ホームズファンの翔太は、一緒に事件の真相を追う。

K913 ㄇㄤ 行ってきまあす！

升井純子／著 講談社

4年生になった歩美は〈ノルミル〉を楽しみにしていた。それは4年生から参加できるスタンプラリーのことだ。はじめての〈ノルミル〉で、歩美の友達が地下鉄に乗り遅れてはぐれてしまう。外の世界に出て行こうとする子どもたちのわくわ

くした気持ちや不安などを生き生きと描いた作品。

K913 ヽ 声 蜚

万乃華れん／作 丹地陽子／絵 岩崎書店

陽平は、カラスを追いかけて友達の孝太郎とともに不思議な森に入り込む。森には、赤や青に光る玉がふわふわと浮かんでいた。それは、誰にも聞いてもらえない人の言葉〈声蜚〉だという。
[第30回福島正実記念SF童話大賞受賞]

K913 ミ 岳ちゃんはおロボットじゃない

三輪裕子／作 福田岩緒／絵 佼成出版社

2年前に引っ越していった岳也が草太のクラスに戻ってきた。前と変わらず動物が大好きな岳也だが、大人しくてクラスの男の子たちのいいなりになっている。嫌なことをはっきり嫌と言わない岳也にいらだち、草太は思わず怒ってしまう。

K913 モ なぞかけときじろう

もとなぜみ／作 国松エリカ／絵 岩崎書店

なぜなぜ名人で、とけない謎はないと評判の〈なぞかけときじろう〉は江戸の長屋で大人気。ある日、ときじろうの妹が盗賊に誘拐される。返して欲しければ宝のありかを示す謎をとけというのだ。

K913 モ おならゴリラ

もりやしげやす／作 北村直子／絵 偕成社

ゴリラのgoriまるがいる動物園は、貧しくてエサもあまりもらえない。ある日、はらぺこのgoriまるは、歌声やいろんな音が食べられることに気がつく。しかも、きれいな音を食べるときれいな音のおならがでるのだ。人気者になったgoriまるのおならを聞きに、たくさんの人が動物園にやってきた。

K913 ミ サンドイッチの日

吉田道子／作 鈴木びんこ／絵 文研出版

もみこは、両親が別居したため新しいアパートに引っ越した。その部屋の片隅で、意味のわからない言葉が書かれた紙を発見する。別の日には、前の住人らしい男の人も目撃。謎の言葉と関係があるのだろうか。

K929 キ お母さん取扱説明書

キム・ソンジン／作 キム・ジュンソク／絵 吉原育子／訳 金の星社

組み立てると命を宿すおもちゃ〈バイオ・トイ〉の新商品は“お母さん”。ヒヨンスは、家にやってきたお母さんにいろいろなことを教えていく。日ごとにお母さんらしくなっていくが、心を持ったバイオ・トイは処分される決まりだった。

K933 カ 空を飛んだ男の子のはなし

サリー・ガードナー／作 三辺律子／訳 小峰書店

トーマス・トップの誕生日、太った妖精が家を訪ねてきた。誕生日の願いを叶えてくれるというのだ。ふと思いついて「飛べるようになりたい」と願ったトーマスは、空を飛び始める。しかし、両親や先生は目の前で飛んで見せても信じようとしない。

K933 カ プケコの日記

サリー・サットン／作 デイヴ・ガンソン／絵 大作道子／訳 文研出版

ニュージーランド特有の鳥〈プケコ〉。擬人化したプケコの学校生活や家族の姿などを通じて、プケコの生態が描かれた物語。

K933 シ ピップ通りは大さわぎ！ 1 ボビーの町はデンジャラス！

ジョー・シモンズ／作 岡田好恵／訳 学研教育出版

ボビー一家がピップ通りに越してきた翌日、飼いいねこのコンカースがいなくなってしまう。ボビ

ーは友人になったイメルダと一緒にねこを探すのが、町中からねこが消えていることを知る。ピップ通りの怪しい住人のなかから犯人を捕まえられるか？シリーズ1作目。

K933 ｽ7 SW I T C H 1 クモにスイッチ！

アリ・スパークス／作 神戸万知／訳 舵真秀斗／絵 フレーベル館

ジョシュとダニーは、趣味も性格もまったく違う双子の少年。飼い犬を追って奇妙な隣人ベティ・ポッツの実験室に入り込んでしまう。怪しい薬品をかけられた二人は、クモに変身してしまい排水溝から流されてしまった。いろいろな動物に変身する冒険物語の第1巻。

K933 ｽｸ かわいいゴキブリのおんなの子メイベルのぼうけん

ケイティ・スペック／作 おびかゆうこ／訳 大野八生／画 福音館書店

メイベルは、ちょっと太めでくいしんぼうのゴキブリの女の子。いつかお皿にのった人間のごちそうを食べたいと夢みている。ある日、メイベルが隠れ住む家にお客さんがやってくることになり、台所にはたくさんのごちそうが並ぶ。いいにおいに誘われたメイベルは、うっかりスープの中に落ちてしまう。

K933 ｽﾙ やさしい大おとこ

ルイス・スロボドキン／作・絵 こみやゆう／訳 徳間書店

山の上に住む大おとこは、ふもとの村人たちと仲良くなりたいと思っていた。しかし、村人は悪い魔法使いに騙され、大おとこを怖がっている。そんなある日、小さな女の子が、大おとこは怖くないことを知り、友達になった。ほかの人にもそのことを教えようとするのだが、耳を貸そうとしない。

K933 ｵﾝ タイムスリップ海賊サム・シルバー

1 伝説の秘宝をさがせ

ジャン・パーチェット／著 サラ・ボーラー／著 浅尾敦則／訳 スカイエマ／絵 メディアファクトリー

サムは、海で金貨と手紙が入っているビンを拾う。それには、サムの先祖がみつけた宝のありかが書いてあった。金貨をこすったサムは何故か300年前の海賊船にタイムスリップしてしまう。海賊の仲間になったサムは隠された宝を探す航海に出る。

K933 ﾌｸ ねことテルと王女さま

クライド・ロバート・ブラ／さく レナード・ワイスガード／え あんどうのりこ／やく 長崎出版

画家になる夢をあきらめていたテルは、1匹のねこと出会ったことで、絵を描く楽しさを思い出す。ところが、ねこが煙突掃除夫のケッチに捕まり、モップがわりにされてしまう。すばらしいモップの評判はお城に住む王女さまにの耳にも届いた。

K933 ｻ7 おいしいケーキはミステリー！？

アレグザンダー・マコール・スミス／作 もりうちすみこ／訳 木村いこ／絵 あかね書房

アフリカのボツワナにすむ女の子プレシャスの学校で、友達のケーキがだれかに食べられるという事件が起きた。犯人扱いされたのは食いしん坊の男の子。やっていないという彼の言葉を信じたプレシャスは、本当の犯人を探し出すことができるのか？

K943 ｼﾊ ただいま！マラング村 タンザニアの男の子のお話

ハンナ・ショット／作 佐々木田鶴子／訳 齊藤木綿子／絵 徳間書店

ツソはアフリカ・タンザニアに住む男の子。兄と一緒におばさんの家で暮らしている。食べ物も

もらえない生活から逃げ出した二人は、大きな町へ行くためバスに乗ろうとする。ところがツソは兄とはぐれてしまった。一人になったツソが路上生活を経て、再びふるさとへ帰るまでの実話を基にした物語。

K949 ｼﾌﾟ パン屋のこびととハリネズミ ふしぎな 11 のおとぎ話

アニー・M. G. シュミット／作 西村由美／訳
たちもとみちこ／絵 徳間書店

パン屋にはかならずパン生地こびとが住んでいて、大事にされていた。ところが、トリップさんはこびとを怒鳴りつけ、怒らせてしまった。そのせいでトリップさんの作るパンは次々にハリネズミになってしまう。オランダの国民的作家シュミットによる短編集。

物語 5・6年生

K913 7ｶ かさねちゃんにきいてみな

有沢佳映／著 講談社

6年生のかさねちゃんは、問題児ばかりの登校班をしつまりまとめている。なんでも知っているし、「ちゃんとして」という魔法の言葉でみんなをちゃんとさせるカリスマ班長だ。性格も家庭環境もバラバラの8人の子どもの心の動きや成長を描いた作品。

K913 7ｼ がむしゃら落語

赤羽じゅんこ／作 きむらよしお／画 福音館書店

雄馬は、なりゆきで落語を発表することになってしまう。しかたなく、偶然知り合った落語家に弟子入りするが、いい加減でちゃんと落語を教えてくれない。それでも少しずつ人を笑わせる楽しさを知り、自信もついてきたある日、雄馬は大失敗をしてしまう。

K913 7ﾘ 木かげの秘密

浅野竜／作 杉田比呂美／絵 学研教育出版

教室で飼っている金魚が病気になった。「なんとかしろ」と言われた生き物係の中井くんは、金魚をすくい取ると教室を出て行った。一週間後、同じ生き物係の葉月は校庭にある木の枝が光ののを見つけた。確かめに行った葉月は、木のくぼみにためた水の中で泳ぐ金魚の姿を見つける。

K913 7件 切り株ものがたり

今井恭子／作 吉本宗／画 福音館書店

山中にある大きな切り株。それは里の人々と、山で暮らす民との接点だった。修一は、垣間見た山の少女が忘れられず、家の市松人形を黙って持ち出し、女の子にあげようと切り株に置いた。そのことがきっかけとなり起きた事件が、その後の

修一の人生を変えてゆく。

K913 竹 ずっと空を見ていた

泉啓子／作 丹地陽子／絵 あかね書房

複雑な家庭で暮らしている理央だが、まわりの人に恵まれ、幸せに暮らしていた。ところが突然、母親の再婚話、幼なじみの引きこもりや友人との仲違いなどいろいろなことが起きる。

K913 付 サラの翼

稲葉なおと／著 講談社

サラは、亡くなった母が計画してくれた旅に出た。旅の相棒は、軽くていいかげんなコウおじさん。コウは、母の「戦友」だったという。旅で出会った人や風景とふれあううちに、サラの頑なだったところが開かれていく。

K913 イ 下からよんでもきつねつき

石井信彦／作 小松良佳／絵 偕成社

兄弟二人だけで一晩過ごすことになった進と晃。進はおくびょうな晃をつれて神社に冒険に行く。そこに突然、巫女が現れ、手伝いをしてくれたら願いをかなえてあげると言い出す。巫女の正体はきつねで、けがをした森の主を助けてほしいというのだ。

K913 イ 狛犬の佐助 1 迷子の巻

伊藤遊／作 岡本順／画 ポプラ社

明野神社の狛犬には、それを作った石工の親方と弟子の佐助の魂が宿っている。最近、飼い犬がいなくなったといって、大工見習いの耕平が毎日神社へ通ってくる。なんとか願いを叶えてやりたいと思う佐助だが、耕平には狛犬の声は届かない。

K913 何 3人のパパとぼくたちの夏

井上林子／著 宮尾和孝／絵 講談社

めぐるは家事をまったくしない父親に腹を立て、家出をすることにした。城跡に野宿した翌朝、め

ぐるは川でおぼれそうな女の子たちを助ける。女の子を家まで届けるが、そこはパパが二人いる不思議な家庭だった。

K913 オf ともだちは、サティー！

大塚篤子／作 タムラフキコ／絵 小峰書店

ツトムは、夏休みに父親とネパールを訪れた。氷河を楽しみにしていたのに、村の子どもと二人だけで放牧に行くことになる。お互いに第一印象が悪く、言葉も通じない二人だが、一緒に暮らすことで次第に心を通わせる。そんな時、ツトムたちがいる山に大きな嵐がやってきた。

K913 オ ストグレ！

小川智子／著 講談社

光希は引っ越し先の町で、空手道場をさがしていた。そこで出会ったのは、寂れた大演道場。何事にもまっすぐな少女光希の存在が、さまざまな問題を抱えている道場生の気持ちを変えていく。

K913 カf ゲンタ！

風野潮／著 ほるぷ出版

小学5年生の蓮見ゲンタが転落事故にあったのと同時刻に、25才のミュージシャンのゲンタがステージから落ちていた。同時に起きた事故のせいで、心が入れ替わってしまう。誰にもそのことを信じてもらえない二人は、元に戻ろうと奮闘する。二人のゲンタが、他人の生活を経験することで成長していく姿を描く。

K913 カf 竜が呼んだ娘

柏葉幸子／作 佐竹美保／絵 朝日学生新聞社

深い谷底にある罪人の村で暮らしている少女ミア。10歳になった春、ミアは竜に選ばれ村を出て王宮に連れて行かれた。ミアは魔女の呪いで姿が見えなくなった英雄ウズズの部屋子として働くことになる。

K913 か 妖怪スタジアム

梶尾真治／作 海野螢／絵 岩崎書店

妖怪しかいない世界に閉じ込められた櫻井蓮と中村隆盛。それは光島亜香里の父親が作った次元転移機のせいだという。元の世界に戻るために、光島家に向かうが、そこは妖怪同士が戦うスタジアムになっていた。

K913 か 星空点呼 折りたたみ傘を探して

嘉成晴香／作 柴田純与／絵 朝日学生新聞社

高志は、なくした傘を探しに入った森で思いがけない人物に出会う。それは小学生のときに電車の事故で亡くなったはずの友人だった。いじめにあっている女の子、兄がひきこもりで悩んでいる少年、友人を亡くした痛手から無気力に生きている高志。思わぬ出会いが、それぞれをつなぎ、新たな一歩を踏み出す勇気をもたらす。

K913 け 宇宙犬ハッチー 銀河から来た友だち

かわせひろし／作 杉田比呂美／絵 岩崎書店

友樹が出会ったのは、かわいい子犬にそっくりな宇宙人ハッチーだった。捜査官のハッチーは、犯罪者を追う途中に遭難したという。友樹はハッチーと一緒に、地球に逃げ込んだ犯人を捜すことにした。〔第 11 回ジュニア冒険小説大賞〕

K913 か ジャンピンライブ!!! オンザストーリー

開隆人／作 宮尾和孝／絵 そうえん社

父が働きにでたため、ひとりで生活することになったレイ。あることがきっかけで知り合ったギタリストのケンさんの姿をみて、レイは生活費を稼ぐため、路上で歌をうたうことにする。

K913 け ぜんぶ夏のこと

薫くみこ／著 P H P 研究所

夏休み、遠い親戚の海の家にひとりで行くことになった美月。そこで泳ぎが得意な沙耶と出会い、

仲良くなる。二人が夏の海ですごしていると、突然、美月の母親がやってきた。少女たちの一夏のときめきや悩み、成長を描く。

K913 け 西遊後記 1 還の巻

斉藤洋／作 広瀬弦／絵 理論社

天竺から帰った三蔵法師と沙悟浄は長安の寺へ、猪八戒は村へ、孫悟空は山へと戻った。それぞれの生活を営んでいたが奇妙な出来事が起こり、再び孫悟空が活躍する。「西遊記」のその後を、斉藤洋が描く。

K913 け ふるさととはたからもの ぼくの陸前高田

さわまゆみ／著 文芸社

陸前高田にすむ純は、東日本大震災の津波で父と親友を亡くす。自然の脅威と美しさを胸に、純はふるさと陸前高田をたからものだと感じるようになる。

K913 け ドラゴン株式会社

新城カズマ／作 アントンシク／絵 岩崎書店

エルマのところに 1 つの種が届く。この種から生まれたのは 1 頭のドラゴンだった。このドラゴンをきっかけに、エルマたちのすむ世界が大きく変わることになる。物語の結末が 2 つ用意されており、読者がラストを選ぶことができる。

K913 け ひみつの花便り

田村理江／作 高山まどか／絵 国土社

近頃花音は、仲良しグループにいても、居心地悪く感じることもある。しかし、そのことを口に出すと仲間はずれにされそうと言えないでいた。ある日、ひよんなことから謎の女のひとと手紙のやり取りをするようになる。その手紙に花音は自分の本当の気持ちを綴る。

K913 ㊦ 左足のポルカ

手島織江／作 倉部今日子／絵 偕成社

ある日、少年が崖から落ちた。「こんなところで死んでしまうのはいやだ。」と思った少年の左足は、体から抜け出す。旅に出た左足は、南極に行ってみたいと思い、探検隊の乗る船に密航した。

K913 トツ 何かが来た

東野司／作 佐竹美保／絵 岩崎書店

ユウセイと仲間たちは、山中に隠された怪しい建物を見つける。その後、町に戻ると大人がいなくなっていた。翌日戻ってきた大人たちは、まるで機械のようで、突然、ユウセイや残されていた子どもたちに襲い掛かってきた。

K913 ㊦ べんり屋、寺岡の夏。

中山聖子／作 文研出版

売れない画家の父を持つ美舟の夢は、地道にまっとうに生きること。家業の便利屋を手伝う美舟は迷いイヌを探したり、友だちの相談にのったりと忙しい。そんなある日、音信不通だった父親から電話がかかってきた。

K913 ㊦ ロボット魔法部はじめます

中松まるは／作 わたなべさちよ／絵 あかね書房

ゲームとパソコンが好きな陽太郎は、電器店でロボット競技会の存在を知る。それは、自分でプログラミングしたロボットでダンスをする大会だ。自分をキモいオタクとばかにした同級生の女の子と出場することに決めるが、チームワークは最悪。コンテストに出場できるのだろうか。

K913 ㊦ 夜はライオン

長蘭安浩／著 偕成社

マサは野球部のエースで児童会長にも選ばれる成績優秀な 11 歳。ただし、誰にも言えない秘密を抱えていた。その秘密を守るため、修学旅行に向

けて訓練をはじめめる。

K913 ニ 迷宮ヶ丘 1 丁目 窓辺の少年

日本児童文学者協会／編 偕成社

何かに取り付かれたように少年の絵を描き続ける優菜。親友の彩乃は、誰もいないはずの美術準備室で誰かと話している優菜の声を聞く。日常的なかに潜む不思議な出来事を綴る短編集。

K913 ヒレ ふしぎ駄菓子屋銭天堂

廣嶋玲子／作 j y a j y a／絵 偕成社

お客の望んでいる品が手に入る店、銭天堂。売っているのは、ちょっと変わったものばかり。泳げないのが悩みの真由美が買ったのは〈人魚グミ〉。これを食べたおかげで真由美は水泳が得意になるが、体にウロコが生えてきてしまう。

K913 ㊦ 母ちゃんのもと

福明子／作 ふりやかよこ／絵 そうえん社

小学 5 年生のたけるは、亡くなった母にかわり、家事をがんばっている。野菜を買おうと自転車に乗っていたとき、見慣れない路上販売の八百屋を見つける。そこに売っていたのは〈母ちゃんのもと〉。それを水につけると、けむりの奥から母ちゃんが現れた。

K913 ㊦ 衛星軌道 2 万マイル

藤崎慎吾／作 田川秀樹／絵 岩崎書店

石丸真哉は、宇宙空間でデブリマグロやデブリカジキを獲る〈宇宙漁師〉の見習いだ。仲間たちとオンボロ宇宙船で漁をしていると、救難信号を出している脱出用ポッドを発見する。乗っていたのは、地球生まれでわがままな姉弟だった。

K913 ㊦ ふたり

福田隆浩／著 講談社

転校生でいじめられている小野佳純と中学受験を控える村井准一。偶然同じミステリー作家のフ

ァンだと知り、ふたりは親しくなる。そのミステリー作家が、別名義で本を出版していることを知った佳純と准一は、図書館へ通いその謎を解こうとする。

K913 71 みんなの家出

藤田のぼる／作 早川純子／画 福音館書店

フミが図書館でみつけた1冊の本『どっちが家出?』。二人の女の子の〈家出〉が描かれているのだが、フミは、二人のうちどちらが本当の家出なのかわからなくなり、作者へ手紙を書くことにした。

K913 ㄅ てのひら咲いた

別司芳子／著 文研出版

菜月の母は小学校の先生で、4月に菜月の学校に赴任してきた。それ以来、菜月は母のことを「玲子先生」と呼ぶようになる。ある日、玲子先生が担任するクラスの生徒のランドセルが傷つけられる事件が起きた。

K913 ㄲ 林業少年

堀米薫／作 スカイエマ／絵 新日本出版社

代々喜樹の家は山の管理をしていて、今は祖父が林業を行なっている。ある時、百年杉の取引で普段とは違う迫力ある祖父を見た喜樹は驚く。厳しい林業の世界を舞台に、さまざまな苦労や将来への希望と不安、林業に対する誇り、山への畏敬の気持ちなどを丁寧に描く。

K913 ㄴ ふしぎな声のする町で ものだま探偵団

ほしおさなえ／作 くまおり純／絵 徳間書店

七子は古い一戸建てに引っ越してきてから、夜中に不思議な声が聞こえるようになる。ある日、クラスメイトの鳥羽が壺と話をしているのを目撃し驚く。この町では、古い道具の魂〈ものだま〉の声が聞こえるというのだ。

K913 ミ ガチャガチャ☆GOTCHA! ～カプセルの中の神さま

宮下恵菜／作 宮尾和孝／絵 朝日学生新聞社

街角においてある〈カプセルトイ〉。なかには「きみだけの神さま」が入っているものがあるという。悩み事、願い事のある人だけが見つけられるのだ。字がうまくなりた、足が速くなりた、友達が欲しいなどさまざまな悩みを抱える子どもたちの姿をユーモアをこめて描く。

K913 ㄹ なんちゃってヒーロー

みうらかれん／作 佐藤友生／絵 講談社

母親に夢を持ってといわれた蒲生創は、大好きな特撮ヒーローを作りたいを思いつく。相棒で工作が得意なチュウリンやおとなしくて特撮好きなマルタ、気が強いダンコ、成績優秀なリコウを仲間にもかえ試行錯誤しながら特撮映画を完成させる。

K913 ㄷ パンプキン・ロード

森島いずみ／作 狩野富貴子／絵 学研教育出版

早紀は、東日本大震災で母を亡くす。一人になった早紀は、会ったことのない祖父とともに暮らすことになる。友人もでき、少しずつ新生活に慣れていく早紀だったが、不注意で事故を起こしてしまう。[第20回小川未明文学賞大賞]

K913 ㄸ アサギをよぶ声

森川成美／作 スカイエマ／絵 偕成社

アサギの村では、12歳になると女の子は結婚の準備を、男の子は戦士になる準備を始める。しかし、村人から遠ざけられているアサギは仲間に入ってもらえない。戦士になりたいという思いをあきらめられないアサギは、村の掟を破り、ひそかに戦士ハヤの弟子となり弓の練習を始める。

K913 ㄹ きっとオオカミ、ぜったいオオカミ

山崎玲子／作 かわかみ味智子／絵 国土社

真砂人は、神社の裏で動物の頭がい骨をみつける。祖父から、昔はオオカミがいたときいていた真砂人は、オオカミの骨だと確信する。そこで、家族に黙って、長野から上野の科学博物館に確かめに行くことにした。

K913 ㊦ ラスト・スパート！

横山充男／作 コマツシンヤ／絵 あかね書房

小学6年生の翔は、親友の正信といっしょにジュニア駅伝大会に出場することにする。そのため仲間を集め、コーチを元ホームレスのおじさんに頼む。高知を舞台に、町を盛り上げようという大人たちの姿や元気いっぱい日常を送る少年たちの姿をいきいきと描く。

K933 ㊦ おいでフレック、ぼくのところに

エヴァ・イボットソン／著 三辺律子／訳 偕成社

お金持ちの少年ハルは、なによりも犬との生活を夢みていた。ようやくフレックという犬と出会い、互いに信頼を寄せあう。ところが、フレックは両親が週末だけ借りてきた犬だということ知り失望するハル。ハルは、フレックを連れ出し、祖父母のもとへ家出することを決意する。

K933 ㊦ スターリンの鼻が落っこちた

ユージン・イエルチン／作・絵 若林千鶴／訳 岩波書店

スターリン政権のソビエト連邦。10才のサーシャはスターリンを崇拝している少年だ。ところが秘密警察に勤めている自慢の父が、突然、逮捕されてしまう。混乱したサーシャは、あくる日学校でうっかりスターリンの胸像の鼻を壊してしまう。犯人探しははじまるが、サーシャが自分の過失を言い出せないでいると、思いがけない人物が名乗り出た。作者の経験をもとに描かれた作品。[ニューベリー賞オナーブック]

K933 ㊦ 12種類の氷

エレン・ブライアン・オベッド／文 パーバ
ラ・マクリントック／絵 福本友美子／訳 ほる
ぷ出版

冬が訪れると、バケツの水が凍りつく。これが、初氷。それから冬が深まるにつれ、氷はだんだん厚くなり、畑や小川が凍り始め、とうとう庭にスケートリンクが出来上がる。子どもたちの冬の喜びを、12種類の氷の様子から描き出す。

K933 ㊦ 語りつぐ者

パトリシア・ライリー・ギフ／作 もりうちす
みこ／訳 さ・え・ら書房

エリザベスは父親の都合で、叔母の家に預けられることになった。そこで自分によく似た少女の肖像画に出合う。18世紀の開拓民の娘が独立戦争を生き抜いた姿と、現代に生きるエリザベスの姿が交互に描かれる。

K933 ㊦ チャーリー・ジョー・ジャクソンの本がキライなきみのための本

トミー・グリーンウォルド／作 元井夏彦／訳
J. P. クーヴァート／絵 フレーベル館

チャーリーは本を読むのが大嫌い。人に代わりに読んでもらうため取引をしたり、読んだように思われるワザを見つけたりと、本を読まないための努力を惜しまない。本嫌いにおくる読書をしないためのヒント満載の1冊。

K933 ㊦ 駅の小さな野良ネコ

ジーン・クレイグヘッド・ジョージ／作 斎藤
倫子／訳 鈴木まもる／絵 徳間書店

ある晩、川に捨てられた若いメスネコが駅前の空き地にたどり着く。そこは他の野良のメスネコたちが住みかにしている場所だ。若いメスネコはそこでさまざまな経験をしながら、たくましく成長していく。豊かな自然のなかの野生動物や野良ネコの生態をリアルに描きながら、人とネコの心

のふれあいを描いた作品。

K933 テ あたしがおうちに帰る旅

ニコラ・デビス／作 代田亜香子／訳 小学館

町のペットショップで働かされている“イヌ”と呼ばれる少女。イヌの親友はハナグマのエズミだけだ。ある日、そこへオウムのカルロスがやってきた。カルロスはイヌを逃がし、外の世界へ連れ出す。

K933 ヒ トム・ゲイツ トホホなまいにち

L. ピーション／作 宮坂宏美／訳 小学館

トム・ゲイツは絵が得意なイギリスの小学生だ。親友のデリクとバンドを組んだり、姉にいたずらしたりの毎日を過ごす。元気いっぱいのトムの笑える日常をユニークなイラストと文章で描く。
〔ロアルド・ダール賞、レッドハウス・チルドレン・ブック賞大賞（2012年）〕

K933 フ だれにも言えない約束

ジーン・ブッカー／作 岡本さゆり／訳 中山成子／絵 文研出版

第2次世界大戦中のイギリス。父親が爆撃で怪我をしたため、エレンは近所に預けられる。そんなとき、偶然入った小屋で墜落した飛行機に乗っていたドイツ兵に出会う。そこへ再び爆撃が始まり、エレンはドイツ兵とともに瓦礫に閉じ込められてしまう。〔ジェフリー・ビルソン賞児童向け歴史小説部門（1995年）〕

K933 フ マングル・トロググ 大きい族の小さな少年

ジャネット・フォクスレイ／作 スティーブ・ウェルズ／絵 鹿田昌美／訳 小学館

人間に隠れて暮らしている巨人たち〈大きい族〉。ところが、マングル・トロググは人間と同じくらいの小さな少年だ。いつもはいじめられて

いるマングル・トロググだが、王様の誕生会で体が小さいことをいかして大活躍する。

K933 フ テラプト先生がいるから

ロブ・ブイエー／作 西田佳子／訳 静山社

アメリカ、スノウヒル小学校に新米のテラプト先生がやってきた。担当するのは5年生。さまざまな問題や悩みを抱える子どもたちだが、テラプト先生のユニークなやり方で少しずつ変わろうとしていく。ところがそんな時、思いがけない事件が起こってしまう。

K933 村 ローズの小さな図書館

キンバリー・ウィリス・ホルト／作 谷口由美子／訳 徳間書店

1939年、父がいなくなったローズたち一家は母親の故郷ルイジアナに移り住む。作家になることを夢見るローズだったが、生活のため年齢をごまかし、図書館バスの運転手として働きはじめる。ローズから子へ、そして孫、ひ孫へと続く家族の物語がそれぞれの年代の本とともに語られる。

K933 マ 時をつなぐおもちゃの犬

マイケル・モーパーゴ／作 マイケル・フォアマン／絵 杉田七重／訳 あかね書房

イギリスの海辺に住む少女チャーリーの母は、木でつくられたおもちゃの犬を大事にしていた。その理由は、海辺で偶然出会った二人のドイツ人とイギリス人によって明かされる。それは、戦争をこえて結ばれた友情の品だった。

K933 鳥 ミサゴのくる谷

ジン・ルイス／作 さくまゆみこ／訳 評論社

「農場の高い木の上にミサゴが巣を作っている。」ぼさぼさ頭の女の子が教えてくれた秘密にカラムは夢中になる。スコットランドではミサゴはとても貴重な鳥なのだ。アイリスと名付けたミサゴがアフリカへ渡り、戻ってくるまでを見守り

続ける。

K943 ㊦ マッティのうそとほんとの物語

ザラー・ナオウラ／作 森川弘子／訳 岩波書店

ドイツの少年マッティは、父親の故郷フィンランドに行きたいと思っている。そこでフィンランドの家がくじであたったと嘘をついてしまう。大喜びした両親は、仕事をやめて引越しの準備をはじめ。家族思いのマッティの目を通し、日々の生活がユーモアたっぷりに描かれた1冊。[ペーター・ヘルトリング賞受賞作]

K943 ㊦ 母さんがこわれた夏

マリャレーナ・レムケ／作 松永美穂／訳 徳間書店

ゾフィーはドイツにすむ少女で、四つ子の長女。はじめて家族そろって旅行に行くことになった夏、母親の様子がいつもと違うことに気付く。旅行後、母親がうつ病になったのは自分たちが四つ子で手がかかるせいなのかとゾフィーは悩む。個性豊かな子どもたちと、病に苦しむ母親を見守る家族の姿を描く。

K949 ㊦ サリー・ジョーンズの伝説 あるゴリラの数奇な運命

ヤコブ・ヴェゲリウス／作 オスターグレン晴子／訳 福音館書店

今から100年前、嵐の熱帯雨林でゴリラの女の子が生まれた。長老から不吉な予言をされた彼女は、人間に捕まってしまう。サリー・ジョーンズという名前で人間のふりをして入国させられるが、売り飛ばされてしまう。それからサリー・ジョーンズは見世物にされたり、人間に悪用されたり、船乗りとして働いたりといろいろなことを体験する。数奇な運命に翻弄されながらも、前向きにひたむきに生きる彼女の姿に心ひかれる物語。

K963 ㊦ 日ざかり村に戦争がくる

ファン・ファリアス／作 宇野和美／訳 堀越千秋／画 福音館書店

田舎の小さな村〈日ざかり村〉はおさないファン・デ・ルナにとっては世界の全てだった。ある時、平和な村に戦争がやってきた。爆撃や戦闘があったわけではないが、確実に生活が変わり始めた。戦争が終わっても決して癒されることのない痛みを村の日常を通して描く。

K973 ㊦ ネコ目のからのぞいたら

シルヴァーナ・ガンドルフィ／作 関口英子／訳 ジュリア・オレッキア／絵 岩波書店

ヴェネツィアの少年ダンテは、家庭教師からふしぎな薬をもらう。それは、動物の目を通してものを見る力が備わるというものだ。子ネコの目を通して町をみていたダンテは、誘拐事件を目撃してしまう。

K913 伊 紙コップのオリオン

市川朔久子／著 講談社

論里は親友の元気、変人の水原白とともに創立記念行事の実行委員をすることになる。乗り気ではなかった論里だが、母親の写真をきっかけにキャンデルナイトを提案する。校庭いっぱい広がるキャンデルの星座を作り上げていくなか、論里は家族や友人など自分を取り巻く人とのつながりを感じる。

K913 仏 都会のアリス

石井睦美／作 植田真／画 岩崎書店

中学2年生の小林佐知子は自分のことを〈アリス〉という。『不思議の国のアリス』からとった名前だ。ある日、出張にいった母が家出をする。役者の父、商社勤めの母の間で、将来について考える少女の心をファンタジーを織り交ぜて描く。

K913 伊 ラヴ・ウール 100%

井上林子／作 のだよしこ／絵 フレーベル館

アミコが図書室で借りた編み物の本。カバー裏に隠すように書かれた住所を訪れると、そこにいたのはたくさんのネコと魔法使いのような〈モヘア先生〉だった。そこで編み物を習い始めたアミコは、変わり者の生徒たちに出会う。最初は距離をおいていたアミコだったが、次第に彼らの本当の姿を知り、心を許し始めた。

K913 刈 虫のいどころ人のいどころ

おのりえん／作 秋山あゆ子／絵 理論社

都会から虫の多い田舎に引っ越してきたよりさん一家。ひょうもん蝶にカイガラムシ、テントウムシの幼虫など、次々と現れる虫のせいで、よりさん一家は不思議な体験をすることになった。

K913 カ7 声をきかせて

椋崎茜／著 講談社

砂風はお香屋の孫だが、祖母に教わっても香りを〈聞く〉ことができない。ある日、幼なじみと一緒にタイムカプセルを埋めた場所に人が住み始めたことを知った。砂風と友人は、こっそりタイムカプセルを掘り出そうとするが住人に見つかってしまふ。

K913 カ8 春へつづく

加藤千恵／著 ポプラ社

卒業式の朝、開かずの教室で願い事を唱えると願いが叶うという噂があった。この噂を聞き、自分の願いについて思いを馳せる生徒や大人たちがいた。そして卒業式当日、3年生の竹部真織が開かずの教室の扉を開けた。

K913 カ9 リョウ&ナオ

川端裕人／著 光村図書出版

仲良しのいとこナオを亡くしたリョウ。中学生になったリョウは次世代の世界のリーダーを育成する団体〈GeKOES〉に選ばれる。そこにいたのは、ナオによく似たナオミという少女だった。

K913 カ10 光のうつしえ 広島ヒロシマ広島

朽木祥／作 講談社

灯籠流しの夜、希未は見知らぬ女性に声を掛けられる。母の年齢を聞いた婦人は、希未の顔を見つめ涙を流した。それは、広島に原爆が落とされてから25年後、1970年の夏のことだった。胸に〈原爆〉を抱えながら生きる人々の姿を描く。

K913 カ11 カントリー・ロード

阪口正博／作 網中いづる／絵 B.L出版

浩紀が転校したのは、山間の小さな学校だ。男子生徒は全員野球部に入らねばならず、小学生の頃に入っていた野球チームで嫌な思いをした浩紀は気が進まずにいた。浩紀が入部することで補欠

になる生徒がでたことから部内に確執が生じる。
しかし、浩紀と級友達は夏の登山、野球の対抗戦、
クリスマスなどを経て、固い友情を結んでいく。
[第14回ちゅうでん児童文学賞大賞]

K913 ㍷ カフェ・デ・キリコ

佐藤まどか／著 講談社

イタリア人の祖父が亡くなり、霧子と母親はギ
ャラリー・カフェを営むためにミラノにやってき
た。隣に住む兄弟、気難しい老人、クラスメイト
との出会いの中で、外国で暮らすことの厳しさや、
家族のつながり、人を思う心を知っていく。

K913 ㍷ 千の種のわたしへ 不思議な訪問者

さとうまきこ／作 偕成社

不登校中の中学生、千種。ある夜、不思議な夢
をみる。夢にでてきたクスノキの精霊のいったと
おり、翌日から、さまざまな生き物が千種を訪ね、
身の上話をしていくようになる。

K913 ㍷ 天狗ノオト

田中彩子／作 理論社

保は、亡くなった祖父の部屋に隠されていたノ
ートを見つける。中には〈天狗ニアフ〉と書かれて
いた。ある天狗の一生が綴られたノート。それを
読んだ保と友人たちは天狗が守っていたという場
所を探しに行くことにする。[第11回児童文学フ
ァンタジー大賞奨励賞]

K913 ㍷ オフカウント

筑井千枝子／作 浅妻健司／絵 新日本出版社

リョウガは友人とダンスユニットを組んだ。仲
間は、ぽっちゃり体型でのんびり屋の保と、なん
でもできてプライドの高い牧野。3人は文化祭で
の発表を目標に、練習を始める。部活、クラスメ
イト、恋愛など等身大の中学2年生の日々を描く。

K913 ㍷ おれたち戦国ロボサッカー部！

奈雅月ありす／作 曾根愛／絵 ポプラ社

ノブナガは熱烈な織田信長ファンだ。ところが
父親の都合で、信長の地元名古屋から、徳川家康
の生誕の地三河の岡崎に引っ越すことになる。い
いや転校したノブナガは、ロボットサッカー部
に入部することになるが、そこには宿敵イエヤス
がいた。[第2回ポプラズッコケ文学新人大賞]

K913 ㍷ ラ・プッツン・エル 6階の引きこ もり姫

名木田恵子／著 三村久美子／装画 講談社

高倉涼は自分自身を取り戻そうと、親に反抗し
一人きりでマンションの最上階に引きこもってい
る少女だ。ある日、窓から双眼鏡でのぞいたコン
ビニでレオを見つける。レオは潔癖症の少年で、
決して左手をポケットから出さない。不思議な共
感を抱いた涼は、部屋にこもったままレオへと語
りかける。

K913 ㍷ 星空ロック

那須田淳／著 あすなろ書房

夏休み、レオはドイツへ行くことになった。亡
くなった友人ケチルから預かったレコードを携え
て旅立つレオ。ユリアンというピアノ少年に出会
ったレオは、彼の案内でベルリンの現在そして過
去を体感する。ベルリンに暮らす作者による物語。

K913 ㍷ 木曜日は曲がりくねった先にある

長江優子／著 講談社

受験に失敗し、公立中学に入学したミズキ。偶
然、小学校のころに転校していったカナトに出会
う。誘われて入部した理科部で再会した二人。ミ
ズキは、カナトが時々不思議な言葉をつぶやくこ
とに気付く。カナトは、言葉を色で感じる特別な
感覚を持っていることをミズキに打ち明ける。

K913 ニ おれのミュ〜ズ！

にしがきようこ／作 小学館

絵を描くのが好きな樹は、気になったものはなんでも描いている。ある日、しばらく会っていなかった幼なじみの少女が家を訪れる。長く入院していたという少女の変貌に戸惑う樹。互いにぶつかり合い思いやりながら、生きるということを考える。

K913 マ クサヨミ

藤田雅矢／作 中川悠京／絵 岩崎書店

片喰剣志郎は、グランドの隅で不思議な光景を見る。その様子をみていた教師に誘われて「雑草クラブ」に入った剣志郎は、あの光景が植物の記憶だと知る。植物の記憶を読むことができる〈クサヨミ〉の力を持った剣志郎は、学校にある木に惹かれ手を触れた。すると、真っ赤に燃え上がる学校と少女の姿が見えた。

K913 マミ わからん薬学事始 1〜3

まはら三桃／著 大野八生／装画・本文イラスト 講談社

久須理島で作られている〈気休め丸〉は、あらゆる病に効くが、誰にでも効果があるわけではない。そこで薬の改良という使命を背負い、木葉家の一人息子の草多が、東京の和漢学園高校に入学した。伝統薬の特別なクラスに入った草多は、薬草が話す言葉が聞き取れるようになる。

K913 ヅ きっときみに届くと信じて

吉富多美／作 須田彩加／装画・挿画 金の星社

南條佐奈のラジオ番組にいじめ予告のメールが届く。佐奈は少女からのＳＯＳだと気付くが何もできないでいた。そこへ今度は、いじめを理由に自殺をするという手紙が届く。佐奈は「生きて！」という思いをのせて、ラジオを通じリスナーたちに訴えかけた。

K933 7キ モッキンバード

キャスリン・アースキン／著 ニキリンコ／訳 明石書店

アスペルガー症候群の少女ケイトリンは、人の気持ちを理解するのが難しく、学校では友人ができないでいる。そんなとき突然、ケイトリンの一番の理解者で大好きな兄が銃の乱射事件で亡くなってしまう。ケイトリンは独自のやり方で、混乱する気持ちを整理しようと考えた。〔全米図書館児童文学部門受賞〕

K913 ヲ 路上のストライカー

マイケル・ウィリアムズ／作 さくまゆみこ／訳 岩波書店

デオは、兄とともに故郷ジンバブエの虐殺から逃れ、南アフリカへ向かう。しかし、ようやくたどり着いた南アフリカでは、外国人の排斥活動が起きていた。兄が襲撃を受け、命を落としたあと、悲しみと絶望の中で、デオはサッカーに希望を見出す。〔ベスト・ティーン・ブック受賞、アメリカ図書館協会ベスト・フィクション・ブック（YA部門）受賞〕

K933 クレイジー・サマー

リタ・ウィリアムズ＝ガルシア／作 代田亜香子／訳 鈴木出版

キング牧師が暗殺された年の夏。しっかり者のデルフィーンと二人の妹が、7年間前に家を出て行った母親のもとで夏をすごすことに。ちっとも母親らしくない母のセシル。彼女は黒人の公民権運動家〈ブラックパンサー党〉の詩人として活動していた。〔ニューベリー賞オナーブック、全米図書賞児童書部門ファイナリスト、コレッタ・スコット・キング賞作家部門、スコット・オデール賞〕

K933 オ インディゴ・ドラゴン号の冒険 ドラゴンシップ・シリーズ 1

ジェームズ・A．オーウェン／作 三辺律子／
訳 評論社

1917 年イギリス。ジョンは亡くなった教授から
1 冊の地図を託される。地図を狙うものに襲われ
たジョンは、その場にいたジャック、チャールズ
とともに謎の船に飛び乗り異世界へと旅立つ。そ
の地図は、想像上の国が実在する世界の地図で、
世界征服を企む冬の王が探しているものだという。
ジョンたち地図の守り手の冒険が始まった。ドラ
ゴンシップシリーズ第 1 作。

K933 か 象使いティンの戦争

シンシア・カドハタ／著 代田亜香子／訳 作
品社

ベトナムのラーデ族のティンは、象が大好きな
少年だ。国が戦争をしていることは知っているが、
静かな村で平和に暮らしていた。ところが突然戦
渦に巻き込まれ家族と引き離されたティンは、象
だけを友に森をさまようことになる。

K933 か モンキー・ウォーズ

リチャード・カルティ／著 久保美代子／訳
あすなろ書房

レス族のメスザル、パピーナはラングール族
に襲われて住まいと父親を奪われた。しかし、偶
然出会ったラングール族のミコと友情を深める。
他の部族への襲撃が激化する中、ミコはパピーナ
のためにスパイとなり、自分の知恵だけを頼りに
独裁者に立ち向かう。

K933 か さよならを待つふたりのために

ジョン・グリーン／作 金原瑞人／訳 竹内茜
／訳 岩波書店

16 歳のヘイゼルは、がんが肺に転移して以来酸
素ボンベが手放せない生活を送っている。骨肉腫
で片足を失ったオーガスタスに出会い、互いに惹
かれあう。死を身近なものとして感じながら日々
を過ごす若者たちが生きる姿を描く青春小説。

K933 か ペーパータウン

ジョン・グリーン／作 金原瑞人／訳 岩波書
店

クエンティンは、幼なじみで人気者のマーゴに
ひそかに憧れている。マーゴは、一晩中クエンテ
ィンをつれまわし、翌日、突然失踪した。仲間と
一緒に行方を追ううちに〈ペーパータウン〉とい
う言葉がキーワードとなって浮かび上がってくる。
[エドガー賞ヤングアダルト部門受賞作]

K933 か マルセロ・イン・ザ・リアルワール ド

フランシスコ・X．ストーク／作 千葉茂樹／
訳 岩波書店

発達障害を持つマルセロは、〈リアルな世界〉
を体験してもらいたいという父の希望で、夏休み
に父の法律事務所で働くことになる。新たな出会
いや仕事に戸惑う日々。ある日マルセロは捨てら
れていた 1 枚の写真を見つける。その写真には事
務所の大きな秘密が隠されていた。

K933 か 負けないパティシエガール

ジョーン・バウアー／著 灰島かり／訳 小学館

フォスターはカップケーキ作りの名人。ママの
恋人の暴力から逃れるため、二人で新しい町に向
かう。そこで自作のケーキをレストランに売り込
むと、町の人に絶賛され大評判になる。フォスタ
ーは読み書きに障害があることで悩んでいるのだ
が、そのことを知った女優がある提案をする。

K933 か 浮いちゃってるよ、バーナビー！

ジョン・ボイン／著 オリヴァー・ジェファー
ズ／画 代田亜香子／訳 作品社

〈普通〉であることを求める両親のもとに生ま
れた〈普通〉じゃない男の子バーナビー。彼は生
まれたときから重力を無視して宙に浮かぶ体を持
っていた。思い余った両親が起こしたことをきっ
かけに、バーナビーは世界へ飛び立つことになる。

K933 紅 バイバイ、サマータイム

エドワード・ホーガン／作 安達まみ／訳 岩波書店

さえない少年ダニエルは、父親と休暇を過ごしているリゾート施設で不思議な少女レキシーと出会う。レキシーの髪はいつも濡れていて、腕時計の時間が逆に進んでいる。そしてダニエルにしかその姿が見えないのだ。レキシーの身に起きている事件の謎と、少年の繊細な心の動きや家族との関わりが描かれる小説。

K933 77 パンヤンの木 ぼくと父さんの嘘

アーファン・マスター／著 杉田七重／訳 静山社

1947 年、インドからパキスタンが分離し独立する。これまで穏やかに暮らしていた人々が対立し争う姿を病気の父に見せたくない、ピラルは親友の力を借りて嘘をつき通す。世の中の流れに翻弄される人々の姿を丁寧に描く。

K933 71 嵐にいななく

L. S. マッシューズ／作 三辺律子／訳 小学館
大洪水のあと、新しい町に引っ越してきたジャック。そこで処分されることが決まっている 1 頭のみすぼらしい馬と出会う。馬を助けるため、友達になった隣家のマイケルの力を借りながら、訓練をはじめ。そんなとき、再び嵐が町を襲う。厳しい環境にさらされている近未来の世界を舞台に、少年や周りの人々、そして世界が再生される姿を描く。

K933 74 沈黙の殺人者

ダンディ・デイリー・マコール／作 武富博子／訳 評論社

野球チームの監督を殺害した容疑で裁判にかけられているジェレミー。ジェレミーは特別な個性を持ち、10 年ほど口を利かないでいる、心やさしい少年だ。妹のホープは大好きな兄の無実を証明

しようとするが、謎の脅迫電話がかかってくるようになる。[エドガー・アラン・ポー賞 (YA 小説部門) 受賞 (2012 年)]

K933 アリブランディを探して

メリーナ・マーケッタ／作 神戸万知／訳 岩波書店

ジョセフィン・アリブランディはイタリア系オーストラリア人の女子高生。彼女は、自分に貼られたレッテルから解放されたいと願っている。そんな時、突然会ったことのなかった父親が現れた。血縁、親からの期待、学校、恋人……。さまざまな自分を取り巻くものたちから、自分を探し出そうとする思春期の少女の物語。[オーストラリア児童文学賞高学年部門]

K933 77 ソウと旅した戦争の冬

マイケル・モーパール／作 杉田七重／訳 徳間書店

第 2 次世界大戦中、リジーは母と弟と一緒にドイツで暮らしていた。動物園の飼育係として働き始めた母は、可愛がっている子ゾウを戦争から守るため、夜だけ自宅の庭に避難させることにした。ある晩、3 人が逃げ出したゾウを追いかけていると空襲が起きる。着の身着のまま逃げ出した 3 人と 1 頭は安全な場所を求めて親類の家を訪ねる。しかし、そこにいたのは敵の航空兵だった。

K933 70 ギャザリング・ブルー 青を蒐める者

ロイス・ローリー／著 島津やよい／訳 新評論

足の不自由な少女キラ。母が死に、身寄りがなくなったキラは、村から追い出されそうになる。しかし、彼女を救ったのは母から教えられた裁縫や染色の腕だった。生まれもつての才能を認められたキラは、守護者のもとで暮らすことになる。そこには彫刻の才能のある少年や、歌の才能があ

る少女が暮らしていた。

K943 ㍻ 14 歳、ぼくらの疾走 マイクとチック

ヴォルフガング・ヘルンドルフ／作 木本栄ノ
訳 小峰書店

マイクは、ベルリンのギムナジウムの8年生。学校では目立たない少年だ。ある時、問題を多く抱えていそうな、不思議な雰囲気を持つチックという少年が転校してくる。特に接点のなかった二人だが、何故か夏休みにドライブをすることに。車はチックが盗んできたボロ車。この思いがけない旅が二人にとって忘れられないものとなる。

〔ドイツ児童文学賞、クレメンス・ブレンターノ賞、ハンス・ファラデ賞〕

K943 ㍺ 庭師の娘

ジークリート・ラウベ／作 若松宣子／訳 中村悦子／絵 岩波書店

マリーは、庭仕事に夢中な少女だが、父親の希望でもその才能を知ったメスメル博士の屋敷で庭造りを任されたマリーは、これまでにない自然を生かした庭を作り上げる。18世紀後半のオーストリアを舞台に、実在した人物なども織り交ぜながら、自分の道を切り開こうとする少女の姿を描いた1冊。

K949 ㍽ このTシャツは児童労働で作られました。

シモン・ストランゲル／著 枇谷玲子／訳 汐文社

ノルウェーに住む少女、エミーリエはおしゃれや恋愛に興味がある女の子。ある日、お店でTシャツの値札にシールを貼っている男の子と出会う。そこには〈世界を救おう〉と書かれていた。そのTシャツはバングラデシュで少女たちが縫製しているものだ。エミーリエは労働環境の改善を求める抗議運動に没頭していく。

K949 ㍿ カンヴァスの向こう側 少女が見た素顔の画家たち

フィン・セッテホルム／著 枇谷玲子／訳 評論社

スウェーデンに住むリディアは、絵を描くのが大好きな少女。公園で不思議な少年に「君の手は特別だ」と言われた。その後、訪れた美術館で、偶然触った絵画が描かれた場所へとタイムスリップしてしまう。レンブラント、ドガ、ダ・ヴィンチなど個性豊かな画家たちのもとを訪れる冒険ファンタジー。〔セレクトシス青少年文学賞、チェント賞受賞〕

K949 ㍿ わたしは倒れて血を流す

イエニー・ヤーゲルフェルト／作 ヘレンハルメ美穂／訳 岩波書店

美術の授業中に電動ノコギリで親指の先を切斷したマヤは、父親と二人暮らしの女の子。週末、風変わりな母親に会うために家を訪れるが、母がいない。失踪した母の行方を捜そうとするマヤ。繊細な少女の、家族に対する思いを描く作品。〔2010年アウグスト賞児童・青少年部門受賞〕

K953 ㍿ リリー・Bの小さなつぶやき

ヴェロニックMル・ノルマン／著 鳥飼カオル／訳 文芸社

リリーはパリ郊外に住む15歳の少女。両親への反発や意地悪な同級生、偶然出会った少年への初恋など思春期のリリーのまわりで起きることを軽やかに描く。

その他 文学

K908 マ 三本の金の髪の毛 中・東欧のむかし ばなし

松岡享子／訳 降矢なな／絵 のら書店

中・東ヨーロッパ各地で語りつがれてきたおはなしを、現在スロバキア在住の降矢ななの描く絵とともに紹介した1冊。

K912 化 少年口伝隊一九四五

井上ひさし／著 ヒラノトシユキ／絵 講談社

原爆投下後のヒロシマには、口頭でニュースを伝えてまわる口伝隊という少年がいた。原爆症、災害で多くの人が亡くなったヒロシマで生きた少年たちの姿を描いた井上ひさしの朗読劇を書籍化。

K916 ㍻ ぼくは満員電車で原爆を浴びた 11 歳の少年が生きぬいたヒロシマ

米澤鐵志／語り 由井りょう子／文 小学館

広島市内を走る路面電車に乗っていたときに米澤氏は原爆にあった。その過酷な体験を文章にした1冊。奇跡的に生き延びた米澤氏は、現在、原爆の惨禍を訴える語り部として活動している。

K943 ㍻ メルヘンビルダー フィッシャーが描 いたグリムの昔話

ヤーコブ・グリム／〔著〕 ヴィルヘルム・グリム／〔著〕 ハンス・フィッシャー／絵 佐々梨代子／訳 野村滋／訳 こぐま社

ドイツ語で〈メルヘンの絵〉という意味を持つ『メルヘンビルダー』。物語の始まりから終わりまでを1枚の紙のなかに描き出す〈1枚絵〉で、ハンス・フィッシャーがおはなしの世界を豊かに表現した9編のグリム童話。

主 題 書

K015 フ 図書館のトリセツ

福本友美子／著 江口絵理／著 スギヤマカナヨ／絵 講談社

現在は、児童書の研究や翻訳で活躍する著者が、図書館員だった経験を生かして公共図書館の利用方法を解説。本の探し方や利用マナーなどの基本的なことから、図書館が行う各種サービスも紹介。図書館の使い方、楽しみ方をイラストを使って、わかりやすく案内する。〔小中〜〕

K033 ハ 世界一素朴な質問、宇宙一美しい答 え 世界の第一人者 100 人が 100 の質問に答える

ジェンマ・エルウィン・ハリス／編 西田美緒子／訳 タイマタカシ／絵 河出書房新社

子どもの素朴な質問に、専門家が一間ずつ丁寧に答える。「空はどうして青いの?」「風はどこからくるの?」といった、誰もが一度は不思議に思うような質問から、「わたしはなにでできているの?」「神様ってだれ?」など、哲学的な質問まで多岐にわたる。〔小低〜〕

K070 フ 毎日新聞社記事づくりの現場

深光富士男／文 佼成出版社

全国紙『毎日新聞』の東京本社編成編集局に所属する記者たち取材し、日々起こる事件を紙面にまとめていく工程を追う。事件を取材する記者のほか、社説を担当する論説委員や原稿をチェックする校閲記者の仕事も紹介。新聞記事ひとつひとつに奮闘する人たちの姿が見えてくる。〔小高〜〕

K181 マ 日本の地獄・極楽なんでも図鑑 1〜 3

松尾恒一／監修 ミネルヴァ書房

仏教の世界観から、死後の世界をイラストを使

ってやさしく紹介するシリーズ。1巻では、地獄や極楽へ行くまでを見ていく。また、実在する名所や祭なども紹介。2巻では地獄、3巻では極楽について解説する。〔小中〜〕。

K210 ㊦ 江戸時代の暮らし方 「もしも？」の図鑑

小沢詠美子／著 実業之日本社

現代の私たちがもしも江戸時代にタイムスリップしたら、という設定で、当時の景色の中に、現代の人や物を混ぜ込んで描く。現代との違いを比べながら、江戸時代の暮らしを紹介する。〔小高〜〕

K217 テ 綾瀬はるか「戦争」を聞く

TBSテレビ『NEWS23』取材班／編 岩波書店

広島県出身の女優、綾瀬はるかが、被爆者や沖縄戦の戦争関係者に行ったインタビューをまとめた。原爆を体験した自身の祖母をはじめ、長崎や沖縄などを訪ね、過去の体験談を聞く。TBSテレビで放送された企画を書籍化。〔小高〜〕

K227 カ 古代イラク 2つの大河とともに栄えたメソポタミア文明

ベス・グルーバー／著 トニー・ウィルキンソン／監修 日暮雅通／訳 BL出版

遺跡や出土品を分析し、古代文明を解き明かしていく。現存する遺跡が少ない中で、古代イラクの痕跡を見つけていく。シリーズには、アフリカ・エジプト・インド・中国・マヤがある。〔小中〜〕

K289 ケ 官兵衛、駆ける。

吉橋通夫／著 講談社

天下一の軍師と呼ばれた戦国時代の武将、黒田官兵衛。「人を殺さず傷つけず」の考えに至った官兵衛のルーツをたどる。官兵衛を主人公とし、

「家族」「友人」「恋人」の三章からその半生をひも解く。〔小高〜〕

K291 フ 富士山の大図鑑 世界にほこる日本の名山

富士学会／監修 PHP研究所

富士山を様々な側面から紹介する。なりたちや標高などの概要のほか、富士山を扱った浮世絵や俳句を紹介し、文化的な側面も見えていく。登山ルートのページでは、登山のマナーも合わせて解説。〔小中〜〕

K335 ㊦ 15歳から、社長になれる。 ぼくらの時代の起業入門

家入一真／著 100%ORANGE／装画・挿画 イースト・プレス

21歳ではじめて起業して以来、様々な会社や仕事をやり続けてきた著者による、社長になるための手引書。やりたいことがあるならやればいい、と背中を押す序章に続き、第1章からは具体的な起業のプロセスを解説する。読者に語りかけるような文章で、わかりやすい。〔中学〜〕

K366 カ パワハラに負けない！ 労働安全衛生法指南

笹山尚人／著 岩波書店

弁護士である著者が、労働安全衛生法について解説。パワーハラスメントなどの職場での嫌がらせから、自分を守る方法を物語り仕立てアドバイスする。前作『労働法はぼくらの味方！』とともに、これから社会へ出て働く人たちに薦めたい。〔中学〜〕

K367 ケ 世界の女性問題 1～3

関橋眞理／著 プラン・ジャパン／監修 汐文社

世界の様々な女性問題を紹介するシリーズ。テーマ別に実例を挙げ、その背景を解説。全3巻で、

1 巻目は「貧困」「教育」「保健」を取り上げる。
〔小高～〕

K367 ヲ 戦争がなかったら 3人の子どもたち 10年の物語

高橋邦典／著 ポプラ社

西アフリカのリベリア共和国では、内戦の激化に伴い、多くの子どもが犠牲になった。思春期を死と隣り合わせて過ごした二人の元少年兵と、爆撃によって右腕を失った少女。内戦のあとの彼らを追いかけた、10年間の記録。〔中学～〕

K369 サ イラクから日本のおともだちへ 小さな画家たちが描いた戦争の10年

佐藤真紀／文 堀切リエ／文 JIM-NET
／協力 子どもの未来社

2003年のイラク戦争から10年。劣化ウラン弾の使用により、イラクではガンになる子どもが増加している。家族を亡くした子、病気と闘う子など、戦争で犠牲になったイラクの子どもたちが描いたイラストと平和へのメッセージ。そして、東日本大震災が起った日本へのメッセージをまとめる。
〔小高～〕

K372 ㄗ ブータンの学校に美術室をつくる

榎本智恵子／著 WAVE出版

青年海外協力隊でブータンに渡り、視覚に障がいを持った子どもたちに、美術を教えた女性の体験記。特別支援のあり方や、生活・価値観の違いを紹介。そこから、ブータンが「幸福の国」と呼ばれる理由が見えてくる。〔小高～〕

K373 ㄗ ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。マララ・ユフスザイさんの国連演説から考える

マララ・ユフスザイ／述 石井光太／文 ポプラ社

パキスタンの武装グループを批判したため、銃で撃たれた16歳の少女、マララさん。襲撃事件後、

国連で行なった演説を冒頭に引き、学校へ行くことの意義を問いかける。児童労働の現状も写真で紹介する。〔小高～〕

K374 ヲ めざせ！給食甲子園

こうやまのりお／著 講談社

安全・衛生・栄養、すべての要素が求められる学校給食。その最高峰を競う、学校給食甲子園の第7回決勝大会を記録したもの。出場各校が代表に至るまでに重ねた試行錯誤や、大会本番の白熱した様子を伝える。給食に込められた、様々な工夫を知ることができる。〔小高～〕

K376 ヲ ランドセルは海を越えて

内堀タケシ／写真・文 ポプラ社

日本で使われなくなったランドセルをアフガニスタンの子どもたちに贈る活動を記録したもの。長らく戦争状態が続く、アフガニスタンの子どもたちの日常を知ることができる。ランドセルを受け取った子どもたちの笑顔が心に残る写真絵本。著者は、毎年アフガニスタン取材している写真家。〔小中～〕

K378 ヲ アイちゃんのいる教室

高倉正樹／ぶん・しゃしん 偕成社

1年1組のアイちゃんは、ダウン症。みんなより体は小さいけれど、いつも笑顔の頑張り屋さん。クラスメイトたちは、ごく自然にアイちゃんをそっと見守り、サポートしている。アイちゃんとクラスメイトたちの1年を追う。読売新聞宮城県版に連載された記事を基に単行本化。〔小中～〕

K383 ㄗ カステラ、カステラ！

明坂英二／文 齋藤芽生／絵 福音館書店

カステラは、もともと450年前にポルトガル人が長崎に持ち込んだ「パン・デ・ロー」というお菓子だった。のちにカステラと呼ばれ、日本のお菓子として親しまれるようになるまでの物語。月

刊誌「たくさんのふしぎ」（2006 年 2 月号）のハードカバー版。〔小中～〕

K388 ト 大天狗先生の妖怪学入門

富安陽子／著 少年写真新聞社

妖怪の大天狗が学校を開く。集まった小天狗たちに、妖怪とは何かを教えるストーリー仕立ての本。本文はほぼ大天狗の語りで進み、小天狗たちの反応が素直で読みやすい。「古事記」や「今昔物語集」など、時代ごとの代表的な資料から、妖怪の記述を紹介する。〔小中～〕

K402 加 まるごと観察富士山 壮大な火山地形から空、生き物まで世界遺産を知る

鎌田浩毅／編著 誠文堂新光社

2013 年 6 月に、世界文化遺産に登録された富士山。火山である富士山のすそ野には、広大な森林が広がり、富士五湖をはじめ豊富な水に恵まれている。富士山の成り立ちや上空で起こる不思議な現象、過酷な環境に生きる生き物たちなど、富士山をめぐる自然環境を豊富な写真と図で説明する。〔小高～〕

K402 レ ソフィー・スコットの南極日記

アリソン・レスター／作 斎藤倫子／訳 小峰書店

ソフィーのパパは、オーストラリアから南極基地まで人や荷物を運ぶ船の船長だ。ソフィーは、パパの船に乗って南極へ 30 日間の旅に出る。船での生活や基地の様子など、9 歳の女の子を通して見た南極の世界を絵日記形式で紹介する。著者は、オーストラリア南極観測隊の研究者。〔小中～〕

K407 シ ぼくたちいそはまたんていだん

三輪一雄／作・絵 松岡芳英／写真 偕成社

春休みに、かいととまりは、祖父からあるゲームを提案される。海岸に打ち上げられた漂流物を探す、なぞときゲームだ。四季によって、また磯

と浜でも違う漂流物を、写真と絵で解説する。〔小中～〕

K449 社 はじめてふれる日本の二十四節気・七十二候

根本浩／著 小林絵里子／絵 汐文社

1 年間を「立春」など、24 の季節に区切った二十四気候と、さらに細かく分けた七十二候を紹介する。「青虫が蝶になる」といったわかりやすい言葉で表現される季節は、日本ならではの情緒にあふれている。春夏秋冬の全 4 巻。〔小高～〕

K456 モ 地層ってなんだろう 1~3

目代邦康／編著 汐文社

身近にある地形や地層を、どのように観察すればいいのか、場所ごとに解説。海岸、川、平野などの章に分けて、写真で実際の場所を見ながら調べ方を学ぶ。コラムでは、地形図の使い方や、記録の取り方を紹介する。〔小中～〕

K462 フ ガラパゴスに木を植える 世界自然遺産第一号を守れ！

藤原幸一／写真・文 岩崎書店

ガラパゴス諸島の概要と固有種を一つひとつ詳しく紹介し、その保全を訴える。著者が代表を務める「ガラパゴス植林プロジェクト」は、原生林の復活を目指して設立された。外来種から生態系を守るための活動を紹介する。〔小高～〕

K468 ね ホタルの光は、なぜだらけ 光る生き物をめぐる身近な大冒険

大場裕一／著 くもん出版

発光生物の研究に取り組んでいる著者が、身近な科学実験の事例として、ホタルを紹介する。少しでも「なぜ？」と思ったことを、実験して証明する過程を解説。科学の楽しさを伝える。〔小高～〕

K481 ㊦ 追跡！なぞの深海生物

藤原義弘／写真・文 野見山ふみこ／文 あかね書房

水深 200mより深い「深海」。太陽の光が届かない暗闇の世界には、サンゴ礁に匹敵する多種多様な生物たちがいた。日本近海の深海で採取された生物の写真とともに、大きさ、採取場所、特徴を記す。そのほか、「しんかい 6500」を代表とする潜水調査船を紹介する。〔小低～〕

K483 ㊦ イソギンチャクのふしぎ

楚山いさむ／写真・文 ポプラ社

浅瀬にいるもの、深い海にいるもの、ヤドカリやカニと共生するもの。あまり知られていないイソギンチャクの生態を紹介した写真絵本。口から小さな赤ちゃんを吹き上げているところや、縄張り争いで敵を攻撃している様子など、めずらしい写真が収められている。〔幼児～〕

K484 ㊦ 深海の怪物 ダイオウイカを追え！

窪寺恒己／著 ポプラ社

これまで、謎につつまれていた深海生物のダイオウイカ。著者は、2002 年から小笠原近海で調査を始め、2012 年に世界で初めて生きたダイオウイカの撮影に成功した。その不思議な生態と、撮影成功までの道のりを紹介する。〔小高～〕

K485 ㊦ クモの巣図鑑 巣を見れば、クモの種類がわかる！

新海明／著 谷川明男／写真 偕成社

身近な場所で見つけることのできるクモの巣約 40 種類をカラー写真で紹介。巣の形状を円形、ハンモック形など 7 つに分類。その形状と巣の作られた場所からクモの種類を特定することができる世界初の図鑑。巣の見つけ方や巣の作り方などクモの生態を詳しく解説する。〔小中～〕

K486 ㊦ タガメのいるたんぼ

内山りゅう／写真・文 ポプラ社

水中に棲む虫で、日本最大の昆虫タガメの生態を紹介しながら、生息地である田んぼの減少を訴える。迫力のある捕食シーンから、その大食ぶりを紹介する。写真絵本としても楽しめる。〔幼児～〕

K486 ㊦ イモムシ

新聞孝／写真・文 ポプラ社

形や色、大きさなど様々な種類のイモムシを紹介する。イモムシが卵から生まれる瞬間や、脱皮する前の薄い皮が見えてくるところなど、あまり目にすることのない写真も取り上げる。短い文章の写真絵本。〔幼児～〕

K486 ㊦ カマキリの生きかた さすらいのハンター

筒井学／写真と文 小学館

カマキリが卵からかえり、食物連鎖の中で生きていく様子を写真で紹介する。捕食したり、されたりする生々しい姿もあり、自然の中で生きるカマキリの姿を捉えている。〔小中～〕

K486 ㊦ どんぐりむし

藤丸篤夫／しゃしん 有沢重雄／ぶん そうえん社

どんぐりの中に卵を産む、シギゾウムシとハイイロチョッキリを紹介する写真絵本。どんぐりの中から出てきた幼虫を「どんぐりむし」と親しみをこめて呼び、その生態を簡単に解説する。「どんぐりむし」は作者の造語。〔幼児～〕

K486 ㊦ 世界クワガタムシ探検記 ダーウィン・ビートルを求めて

山口進／著 岩崎書店

クワガタムシを探して、アジア各地・オーストラリア・アフリカ・南アメリカを旅した著者の体

験を綴る。現地の人々の助けを借りながら、各地で出会った様々なクワガタムシを紹介する。〔小中～〕

K488 ㇗ この羽だれの羽？

おおたぐろまり／作・絵 偕成社

身近に見られる 19 種類の鳥と羽の図鑑を収録。羽は、すべての部位が実物大に描かれているため、実際に拾った羽と比較して調べることができる。他に、羽の役割や様々な手入れの方法も紹介する。写実的な絵が美しい。〔小中～〕

K489 ㇗ キタキツネの十二か月 わたしのキツネ学・半世紀の足跡

竹田津実／著 福音館書店

およそ 50 年もの間、キタキツネの研究を続けてきた著者による、集大成の本。これまで著者が観察してきたキタキツネの姿を、12 ヶ月に分けて報告する。そこからは、人と変わらなく感情豊かに生きるキタキツネが見えてくる。月刊誌「かがくのとも」(2009 年 4 月号)「キタキツネのおとうさん」、同誌(2010 年 7 月号)「キタキツネのおかあさん」もハードカバー版で出版。〔中学～〕

K493 ㇗ みな また、よみがえる

尾崎たまき／写真・文 新日本出版社

鹿児島県水俣市を臨む八代海。その海に浮かぶ無人島「恋路島」の語りで進む写真絵本。水俣病に苦しめられた海の生きものに焦点を当て、地元の方言でその再生を語る。〔小高～〕

K493 ㇗ 患者さんが教えてくれた 水俣病と原田正純先生

外尾誠／文 フレーベル館

2012 年 6 月に亡くなった医師、原田正純先生と水俣病の記録。医者になったばかりの頃、原田は、まだ原因もわかっていなかった水俣病と出会う。高い志を持って医者になったが、水俣病との闘い

は困難の連続だった。諦めずに患者と寄り添い続けた生涯を紹介する。〔小高～〕

K498 ㇗ ふたつの勇気 たくさんの命を救ったお医者さんの話

山本省三／文 夏目尚吾／絵 学研教育出版

東日本大震災の日、石巻市立病院は津波の被害をうけ、二日間孤立した。当時外科部長だった内山哲之さんは、浸水した道を歩いて助けを求める。それを受け、ドクターヘリの救急医矢野賢一さんは、患者やスタッフを助けるために奔走した。実話を描いた絵本。〔小低～〕

K512 ニ 調べてみよう!! 地面のボタンのなぞ 一番えらいボタンをさがせ!!

日本土地家屋調査士会連合会／編 日本加除出版

地面に打ち込まれた赤や黄色の「金属びょう」は、土地の境界を示すもの。富山市立蜷川小学校の本吉凜菜さん(当時 2 年生)は、それを「地面のボタン」と呼び、自由研究としてボタンの役割を調査した。その本吉さんの研究を基に、土地家屋調査士が詳しい解説と写真を加え、再編集した。〔小中～〕

K520 ラ㇗ こんな家にすんでたら 世界の家の絵本

ジャイルズ・ラロッシュ／作 千葉茂樹／訳 偕成社

スペインの洞窟住居やモンゴルの遊牧民族のゲルなど、世界各地の特色ある住宅を、美しいペーパークラフトで紹介する。建築様式、材料、歴史、生活スタイルの解説があり、それぞれが風土や文化に根ざし、快適に暮らせるよう工夫されていることがわかる。〔小中～〕

K520 ハ㇗ 世界を変えた建物 子どもに教えたい 大人にも知ってほしい

クリスティーネ・パクスマン／著 アンネ・イ
ベリングス／絵 エクスナレッジ

現存する世界各地の歴史的建造物から、現代の
先進的な建物まで、時系列に沿って紹介していく。
それぞれの特徴を簡潔に解説。見開きいっぱいに
描かれた建造物は、ラフだが、細部まで描きこま
れている。〔小高〜〕

K552 ㄱ 舟をつくる

関野吉晴／監修・写真 前田次郎／文 徳間書店

はるか昔、東南アジアから黒潮に乗って、日本
列島にやってきた祖先たちの足跡をたどる旅。そ
れは、インドネシアのスラウェシ島で舟を造ると
ころから始まった。舟を造るための道具を作り、
帆やロープも作る。昔ながらの方法で丸木舟がで
きあがるまでの工程を追った写真絵本。〔小中
〜〕

K557 리미 엘트우ール호의遭難 토크와 日本を結ぶ心の物語

寮美千子／文 磯良一／絵 小学館クリエイテ
ィブ

1889 年、オスマン帝国（現：トルコ共和国）の
皇帝の命により、日本に派遣された軍艦エルトゥ
ール号は、帰艦途中、嵐にのまれ紀伊半島沖で
沈没する。その時、紀伊大島の村人たちが奮闘し、
乗組員 69 人の命を救った。日本とトルコの友好の
礎となった実話を物語にしたもの。〔中学〜〕

K596 ㄱ 坂本廣子のつくろう！食べよう！行 事食 全3巻

坂本廣子／著 奥村彪生／監修 少年写真新聞
社

日本の暮らしの中で受け継いできたお正月やお
盆などの年中行事。そして、人の成長に合わせて
行われる食い初めや七五三などの通過儀礼。その
節目でふるまわれてきた行事食のレシピ集で、調
理方法を写真つきでやさしく紹介する。あわせて

料理の由来も解説する。〔小高〜〕

K596 ㄱ 맛있는! 처음부터 만드는 간편 요리

ペヨンヒ／文 チョンユジョン／絵 かみやに
じ／訳 福音館書店

じゃがいものチヂミ、大根のキムチ、はるさめ
料理のチャプチェなど、韓国の家庭料理とデザー
トの作り方をイラストで紹介したレシピ集。子ど
もが楽しく作れて、手に入りやすい材料で簡単に
できるものを 30 種類掲載。日本と同じ材料を使い
ながら、お隣の国の味を体験できる。〔小低〜〕

K616 코미 코메의歴史を変えた코시히카리

小泉光久／著 根本博／監修 玉城聡／挿絵
汐文社

現在、日本で一番作られている米「コシヒカ
リ」は、品種改良を重ねて作り出された。おいし
くて、病気に強い米を作りたいという思いで、長
く地道な研究と努力を続けてきた人々の姿を紹介
した 1 冊。〔小高〜〕

K625 미미食べられたがる果物のヒミツ ゲッ チョ先生の果物コレクション

盛口満／文・絵 少年写真新聞社

果物は食べられたがっている。それは、動けな
い植物にかかわって、種子をばらまいてもらいた
いから。色づき、甘みをつけ、美味しそうな香りを
放って、子孫を残そうとする果物たちの工夫。身
近な果物から珍しいものまで、果物の秘密を正確
なスケッチ画で紹介する。〔小中〜〕

K627 ㄱ 盆栽えほん

大野八生／作 あすなろ書房

簡単に始められる盆栽の入門書。おじいちゃん
と孫がやりとりする形で解説される。小さな鉢の
中に、自分の好きな風景を表現する「芸術」とし
ての側面も紹介。〔小高〜〕

K648 ㊦ うちは精肉店

本橋成一／写真と文 農山漁村文化協会

大阪にある北出精肉店は、7代にわたって牛の飼育から食肉処理、販売を家族経営で行ってきた。しかし、貝塚市立屠畜場の閉鎖に伴い、北出精肉店も食肉処理をやめることになる。牛の屠畜から解体処理を行う最後の1日の様子を追う。生きものを食べものに変える大切な仕事をモノクロ写真で紹介。〔小高〜〕

K653 ㊦ マングローブの木 アフリカの海辺を緑の林に

スーザン・L. ロス／文とコラージュ シンディ・トランボア／文 松沢あさか／訳 さ・え・ら書房

アフリカのハルギゴという村は、大地が乾燥しているために、植物が育ちにくかった。その土地を潤し、貧しい村を救ったマングローブ植樹プロジェクトを紹介する。本編は紙や布などを使ったコラージュと、やさしい文章で解説。巻末に写真つきでプロジェクトの概要あり。〔小中〜〕

K666 / のりができるまで

ひさかたチャイルド

海苔は、身近な食べ物でありながら、その作り方についてはあまり知られていない。この本では、養殖の様子を紹介する。始めは液体状の海苔が、いくつもの過程を経て、ぱりぱりの海苔になるまでを紹介する写真絵本。〔小低〜〕

K672 ㊦ 江戸のお店屋さん

藤川智子／作 ほるぷ出版

江戸時代の商店を紹介する絵本。見開きで店先の絵を見せ、ページをめくると、店の中の絵と共に商品が描かれている。江戸の町を歩きながら、店先を覗いているような演出が楽しい。〔小中〜〕

K706 ㊦ 美術館にもぐりこめ！

さがらあつこ／文 さげさかのりこ／絵 福音館書店

3人組の盗賊団が、お宝をいadakouと美術館に忍び込む。しかし、展示室は空っぽ。美術館は、次の企画展に向けた準備中で、3人は作品の搬入作業を目撃する。盗賊団と一緒に美術館の裏側を覗いていく。月刊誌「たくさんのふしぎ」（1996年11月号）のハードカバー版。〔小中〜〕

K706 ㊦ 美術館ってどんなところ？

フロランス・デュカトー／文 シャンタル・ペタン／絵 青柳正規／日本語版監修 西村書店

美術館の構造やしきみを、緻密なイラストで表現。間抜けな美術泥棒の話やクイズもあり、絵本としても楽しめる。〔小中〜〕

K712 ㊦ 石の巨人 ミケランジェロのダビデ像

ジェーン・サトクリフ／文 ジョン・シェリー／絵 なかがわちひろ／訳 小峰書店

街じゅうから邪魔ものにされていたいびつな巨石が、ミケランジェロの手によって美しいダビデ像に生まれ変わるまでの物語。細やかな絵で、ページいっぱいにフィレンツェの街や人々を描く。〔小中〜〕

K748 ㊦ お〜い、雲よ

長倉洋海／著 岩崎書店

空と子どもたちの写真集。福島県・宮城県・岩手県など、津波や地震の被害が大きかった土地ばかりだが、写真には前向きに生きる人々の姿が捉えられている。雄大な空と雲の背景が、人々の笑顔を引き立てる。〔小中〜〕

K750 ニ 伝統工芸ってなに？ 見る・知る・楽しむガイドブック

日本工芸会東日本支部／編 芸艸堂

伝統工芸を身近に感じるための本。陶芸・染

織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7分野すべてを網羅し、作り方の工程を写真つきで解説する。技法による項目に分け、工程の違いなどを紹介。〔小高〜〕

K764 ㊦ 山田和樹とオーケストラのとびらをひらく

山田和樹／著 松本伸二／著 日本フィルハーモニー交響楽団／企画協力 アリス館

指揮者として活躍中の著者による、オーケストラの本。オーケストラで使われる楽器や、指揮者の仕事だけでなく、楽譜を用意するライブラリアンなど裏方の仕事も紹介する。巻末にバッハやベートーヴェンなど、基本的な作曲家の紹介あり。〔小中〜〕

K782 マ 車いすで世界一周 リック・ハンセンのお話

エインズリー・マンソン／文 杉本詠美／訳 たしろちさと／絵 汐文社

車いすのスポーツ選手、リック・ハンセンの半生を紹介する。幼い頃からスポーツが得意だったリックは、事故で両足が動かなくなっても、様々な形でスポーツに関わり続けた。車いすで世界一周を決意するまでを、ストーリー仕立てで紹介。巻末に、その後のリックの解説と略譜あり。〔小中〜〕

K783 ㊦ メジャー・リーグはおもしろい がんばれ日本人選手

国松俊英／著 WAVE出版

メジャー・リーグの成立やしくみ、名投手や強打者、名野手の活躍を紹介。日本人選手は章を分け、歴代選手から現在活躍中の選手まで、網羅的に解説する。〔小中〜〕

K783 ハ 進め！サムライブルー サッカー日本代表感動の20年ヒストリー

林壮一／著 講談社

日本のサッカー史をダイジェストで追った1冊。Jリーグの誕生や「ドーハの悲劇」など、日本サッカーの歴史を挙げながら、その時代を牽引した選手たちを紹介する。〔小高〜〕

K784 ミ 浅田真央 そして、その瞬間へ

吉田順／著 学研教育出版

2010年、フィギュアスケーターの浅田真央選手は、自分自身のスケートを一から学び直す決断をする。その困難は、並大抵のものではなかった。それでも自分を信じ、前を向き続けた浅田選手の3年間の追いかけたノンフィクション。〔中学〜〕

選定基準

- ①子どものために出版されたものであること。
- ②子どもの知的、情緒的経験を広げることができること。
- ③子どもの発達段階に応じた、理解しやすい内容であること。
- ④絵本の場合は、絵と文の調和がとれていること。
- ⑤ノンフィクションの場合は、知識が正確で時代の進歩に応じていること。

編集後記

今回で、この展示会も 40 回を迎えます。多くの方々に支えられ、継続することができました。ありがとうございます。

さて、昨年も多くの本が出版されました。絵本では『ぐりとぐら』（中川李枝子／文 大村百合子／絵 福音館書店）が世に出てから 50 年、「岩波の子どもの本」シリーズ（岩波書店）が創刊 60 年を迎え、かこさとしさんの『からすのぱんやさん』『どろぼうがっこう』（ともに偕成社）が 40 年ぶりに続編が発行されるなど、長く愛されてきた本が注目された 1 年だったかと思います。また自然科学分野では、テレビ等で話題のダイオウイカなどの深海生物、彗星の接近などに関係した図書が多く出版されました。物語ではティーン向けの新シリーズが刊行され、海外作品が充実した年でした。

今年 3 月には、上橋菜穂子さんが国際アンデルセン賞作家賞受賞という嬉しいニュースがありました。その一方、首都圏下の複数の図書館でアンネ・フランク関連図書の破損被害など、人々の知る権利を守る図書館にとって大変重大な事件が起きました。資料の破損は物質的な損害にとどまらず、文化及び知的財産の損害であり、図書館活動を揺るがすものであるということを知ってもらいたいと思います。

（児童奉仕係：山崎）

*選定、執筆は、物語（小学校低・中・高学年、中学生）は山崎（智）が、絵本、知識の本、文学・ルポルタージュは瀬口・崎川が担当しました。

表紙掲載作品（上段左より）

『てつぞうはね』 ミロコマチコ／著 ブロンズ新社

『家出しちゃった』 藤田千津／作 夏目尚吾／絵 文研出版

『ねこのたからさがし』 さえぐさひろこ／作 はたこうしろう／絵 鈴木出版

『この羽だれの羽？』 おおたぐろまり／作・絵 偕成社

『まほうのでんしレンジ』 たかおかまりこ／原案 さいとうしのぶ／作・絵 ひかりのくに

『マッティのうそとほんとの物語』 ザラー・ナオウラ／作 森川弘子／訳 岩波書店

『ランドセルは海を越えて』 内堀タケシ／写真・文 ポプラ社

『負けないパティシエガール』 ジョーン・パウアー／著 灰島かり／訳 小学館

『ライオンをかくすには』 ヘレン・スティーヴンズ／作 さくまゆみこ／訳 ブロンズ新社

平成26年4月23日発行
富山市立図書館
〒930-0085
富山市丸の内1丁目4-50
TEL (076) 432-7273